BOM for Windows Ver.7.0
Report オプション
デザインファイル仕様

2017 年 3 月 31 日

免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証（商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません）もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関しての責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

Copyright © 2017 SAY Technologies, Inc. All rights reserved.

本ドキュメントに記載されている BOM はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。その他会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

なお、本文および図表中では、「™ (Trademark)」、「® (Registered Trademark)」は明記しておりません。

■ 目次

本ドキュメントについて 1
製品表記 1
使用方法 1
表記規則 1
第 1 章 Report オプション デザインファイル仕様について 1
1 .1 Report オプションのデザインについて 1
1 .2 Report オプションのファイルサイズについて 1
1 .3 グラフのしきい値の表示について 1
第 2 章 各種レポートデザインの仕様 2
2 .1 サーバー診断レポート（Windows） 2
2 .1 .1 各項目について 4
2 .1 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 5
2 .1 .3 サマリー情報の診断結果 6
2 .2 過去比較情報（Windows） 11
2 .2 .1 各項目について 13
2 .2 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 13
2 .3 詳細グラフ情報（Windows） 14
2 .3 .1 各項目について 15
2 .3 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 15
2 .3 .3 特定の監視項目における値について 15
2 .4 システム基本情報（Windows） 16
2 .4 .1 各項目について 17
2 .4 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 17
2 .5 ハードウェア情報（Windows） 18
2 .5 .1 各項目について 19
2 .5 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 19
2 .6 ソフトウェア情報（Windows） 20
2 .6 .1 各項目について 21
2 .6 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 21
2 .7 ハードウェア・ソフトウェア差分情報（Windows） 22
2 .8 プロセス詳細情報（Windows） 23
2 .8 .1 各項目について 25
2 .8 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 25
2 .9 ディスククォータ情報（Windows） 26
2 .9 .1 各項目について 27
2 .9 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 27
2 .10 アプリケーションログ情報（Windows） 28

2 .10 .1 各項目について 29
2 .10 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 29
2 .11 システムログ情報（Windows） 30
2 .11 .1 各項目について 31
2 .11 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 31
2 .12 セキュリティログ情報（Windows） 32
2 .12 .1 各項目について 33
2 .12 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 33
2 .13 セキュリティログ詳細（Windows） 34
2 .13 .1 各項目について 35
2 .13 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 35
2 .14 全インスタンス概要（Windows） 36
2 .14 .1 各項目について 37
2 .14 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 37
2 .14 .3 インスタンス概要の各記号について 37
2 .15 サーバー診断レポート（Linux） 39
2 .15 .1 各項目について 40
2 .15 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 41
2 .15 .3 サマリー情報の診断結果 42
2 .16 過去比較情報（Linux） 46
2 .16 .1 各項目について 48
2 .16 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 48
2 .17 詳細グラフ情報（Linux） 49
2 .17 .1 各項目について 50
2 .17 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 50
2 .18 システム基本情報（Linux） 51
2 .18 .1 各項目について 52
2 .18 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 52
2 .19 ハードウェア情報（Linux） 53
2 .19 .1 各項目について 54
2 .19 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 54
2 .20 ソフトウェア情報（Linux） 55
2 .20 .1 各項目について 56
2 .20 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 56
2 .21 ハードウェア・ソフトウェア差分情報（Linux） 57
2 .22 テキストログ情報（Linux） 58
2 .22 .1 各項目について 58
2 .22 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 59

2 .23 全インスタンス概要（Linux） 60
2 .23 .1 各項目について 61
2 .23 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 61
2 .23 .3 インスタンス概要の各記号について 61
2 .24 Arcserve UDP v6 ログリスト 63
2 .24 .1 各項目について 64
2 .24 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 64
2 .25 Hyper-V レポート 65
2 .25 .1 各項目について 67
2 .25 .2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧 67
第 3 章 レポートデータベース標準テーブルについて 69
3 .1 各種テーブルについて 69

本ドキュメントについて

製品表記

本ドキュメントでは、以下の製品について略称を使用しております。

正式名称	本マニュアルでの呼称（略称）
BOM for Windows Ver.7.0	BOM 7.0
BOM Report オプション Ver.7.0	Report オプション

使用方法

本ドキュメントには、BOM Report オプションを使用する際に必要となる詳細な情報が記載されています。

本ドキュメントを使用するには、Microsoft Windows オペレーティングシステムについての実際的な知識と、BOM for Windows Ver.7.0 の基本的な知識が必要です。

表記規則

本ドキュメントでは、以下の表記規則を使用しています。

表記	説明
‘参照先’	シングルクォート内（‘と’）は本マニュアル内、あるいは別のマニュアルの参照を示します。
“ラベル”	ダブルクォート内（“と”）はラベル名を示します。
「タブ」	鉤括弧内（「と」）はプロパティシート等でのタブ名を示します。
[ボタン]	角括弧内（[と]）はボタン名を示します。
<キー>	山括弧（不等号記号）内（<と>）はキーボード入力を示します。
（補足説明）	丸括弧内（「（」と「）」）は補足説明を示します。

第1章 Report オプション デザインファイル仕様について

1.1 Report オプションのデザインについて

本ドキュメントでは、各種レポートで使用するデザインファイルについて詳細を明記しています。
レポートデータベース設定ウィザードを使用し、レポート用データベースを構築する際に必要となる情報も含まれています。

出力したいレポートに合わせ各ページの詳細部分を確認してください。

1.2 Report オプションのファイルサイズについて

出力された各種レポートのファイルサイズは PDF 出力で約 250KB/枚です。Excel 出力で約 10KB/枚です。

1.3 グラフのしきい値の表示について

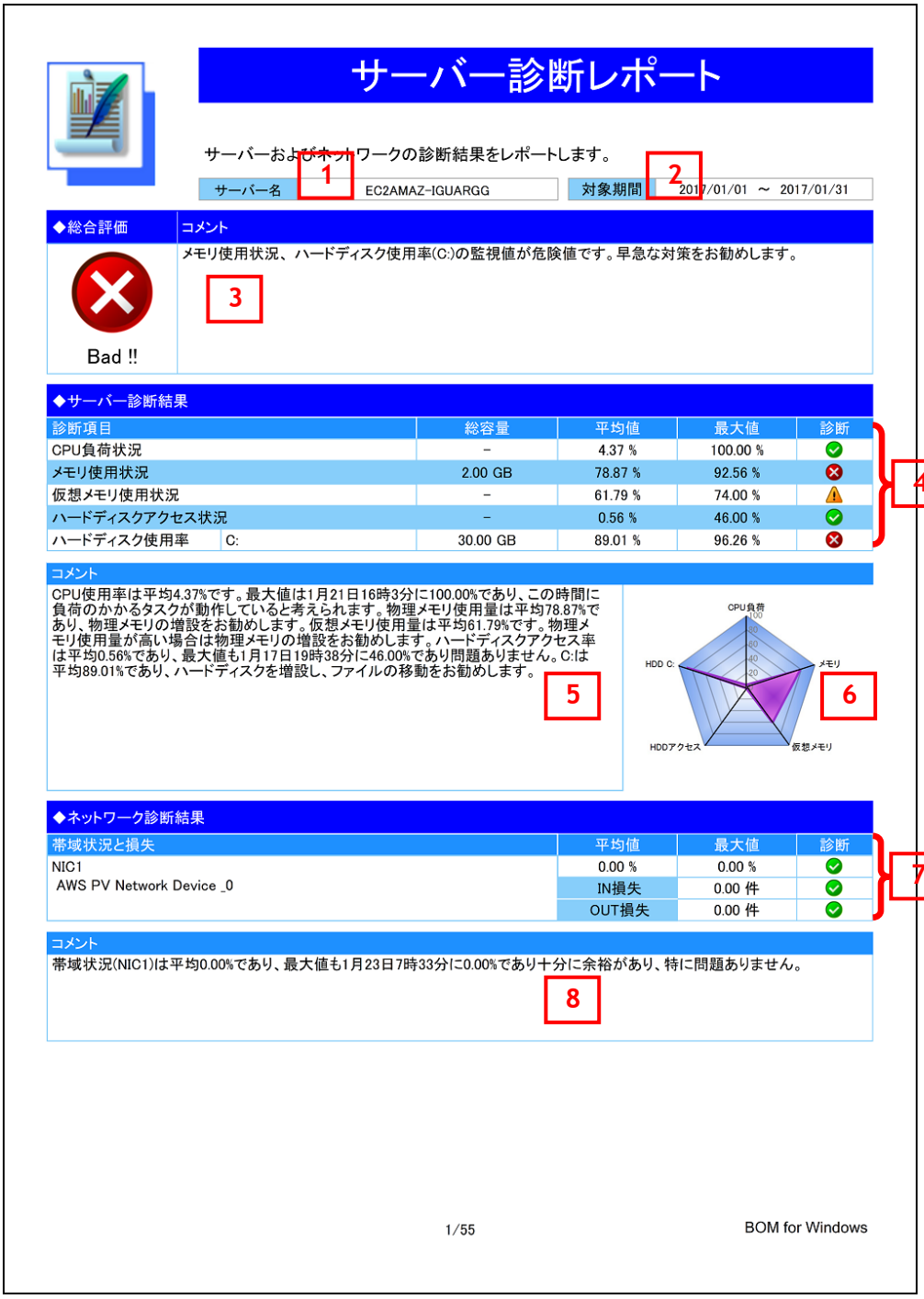
各種レポートで出力されたグラフ表示の中のしきい値表示は監視結果取得時のしきい値です。監視設定を変更し、しきい値を変更するとしきい値のグラフに反映されます。また、監視結果がない場合にはしきい値は表示されません。

第2章 各種レポートデザインの仕様

各レポートについて、画面説明やテーブル説明等をご案内いたします。

2.1 サーバー診断レポート（Windows）

監視コンピューターの稼働状況を簡単にまとめたサマリーレポートです。



サーバー診断レポート

サーバーおよびネットワークの診断結果をレポートします。

サーバー名	EC2AMAZ-IGUARGG	対象期間	2017/01/01 ～ 2017/01/31

◆総合評価

Bad !!

コメント

メモリ使用状況、ハードディスク使用率(C:)の監視値が危険値です。早急な対策をお勧めします。

◆サーバー診断結果

診断項目		総容量	平均値	最大値	診断
CPU負荷状況		-	4.37 %	100.00 %	
メモリ使用状況		2.00 GB	78.87 %	92.56 %	
仮想メモリ使用状況		-	61.79 %	74.00 %	
ハードディスクアクセス状況		-	0.56 %	46.00 %	
ハードディスク使用率	C:	30.00 GB	89.01 %	96.26 %	

コメント

CPU使用率は平均4.37%です。最大値は1月21日16時3分に100.00%であり、この時間に負荷のかかるタスクが動作していると考えられます。物理メモリ使用量は平均78.87%であり、物理メモリの増設をお勧めします。仮想メモリ使用量は平均61.79%です。物理メモリ使用量が高い場合は物理メモリの増設をお勧めします。ハードディスクアクセス率は平均0.56%であり、最大値も1月17日19時38分に46.00%であり問題ありません。C:は平均89.01%であり、ハードディスクを増設し、ファイルの移動をお勧めします。

◆ネットワーク診断結果

帯域状況と損失		平均値	最大値	診断
NIC1		0.00 %	0.00 %	
AWS PV Network Device _0	IN損失	0.00 件		
	OUT損失	0.00 件		

コメント

帯域状況(NIC1)は平均0.00%であり、最大値も1月23日7時33分に0.00%であり十分に余裕があり、特に問題ありません。

1/55

BOM for Windows

◆Ping応答時間

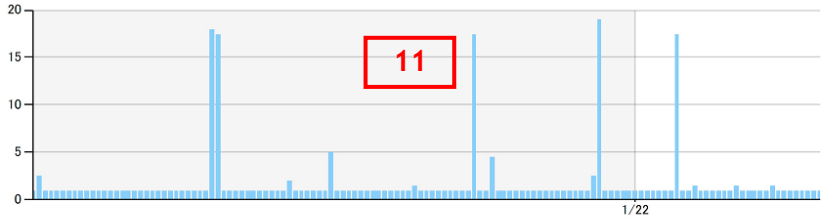
診断は、Ping監視の応答時間を評価しています。(タイムアウトは反映されません)
グラフにて赤横線(Y値"0"近辺)が表示されている場合は、タイムアウト等が発生している可能性があります。
ネットワーク機器やPing先の確認をお勧めします。

9

宛先 ： google.com

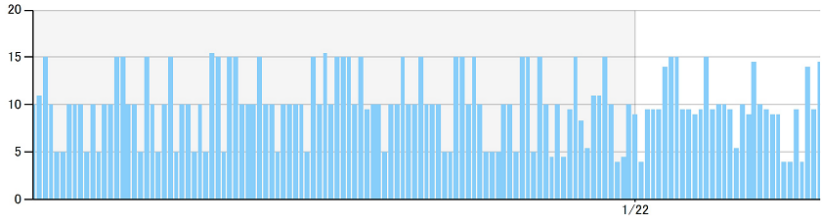
診断項目	平均値	最小値	最大値	診断
応答時間	1.73 ms	1.00 ms	35.00 ms	✔
応答日	–	2017/01/17 19:08:32	2017/01/19 1:14:53	–

10



宛先 ： yahoo.co.jp

診断項目	平均値	最小値	最大値	診断
応答時間	9.97 ms	4.00 ms	17.00 ms	✔
応答日	–	2017/01/20 3:14:53	2017/01/21 18:33:17	–



コメント

google.comとの疎通に問題はありません。yahoo.co.jpとの疎通に問題はありません。

12

◆イベントログ サマリー

下記情報は、総合評価および各コメントの評価対象ではありません。
指標として出力していますので、必要な項目は実際のイベントログでご確認下さい。
セキュリティログは対象ではありません。セキュリティログは別レポートでご確認下さい。

ソース	情報	詳細	警告	エラー	重大	その他	合計
.NET Runtime	0	0	0	3	0	0	3
Application Error	0	0	0	13	0	0	13
ESENT	0	0	0	4	0	0	4
Microsoft-Windows-DistributedCOM	0	0	0	18	0	0	18
Microsoft-Windows-Perflib	0	0	0	1	0	0	1
Microsoft-Windows-PerfNet	0	0	0	1	0	0	1
Microsoft-Windows-WMI	0	0	2	0	0	0	2
MsiInstaller	0	0	22	2	0	0	24
MSSQLSERVER	0	0	0	4	0	0	4

13

2/55 BOM for Windows

2.1.1 各項目について

No	説明
1	レポート対象のサーバー名を表示します
2	レポートの出力対象期間を表示します
3	コンピューターリソースの診断結果、ネットワークトラフィック診断結果および、Ping 応答時間の診断結果を合わせたコンピューター総合評価をそれぞれの診断結果を基にコメントを自動生成します。また、総合評価に合致したアイコンを表示します。
4	コンピューターリソースの診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。
5	コンピューターリソースの診断結果を元にコメントを自動生成します。
6	コンピューターリソースの診断結果をチャートにまとめて表示します。
7	ネットワークトラフィックの診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。
8	ネットワークトラフィックの診断結果を元にコメントを自動生成します。
9	Ping 監視の監視先を表示します。
10	Ping 監視の診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。
11	Ping 監視の応答時間についてグラフ表示します。
12	Ping 応答時間の診断結果を元にコメントを自動生成します。
13	システムログ及び、アプリケーションログの集計値を一覧で表示します。 なお、本項目についてはサーバー診断レポートの評価対象ではありません。

2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

※　レポートデータベース設定ウィザードで指定する際に使用する一覧表です

監視テンプレート名：Windows サーバー診断レポート V2 レポート用

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
Windows レポート向け監視項目	プロセッサ監視	CpuPTime
	メモリ監視	MemABytes
	仮想メモリ監視	PerfMemCBytesInUse
	ディスクアクセス監視	DStreDTime
	C ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	D ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	E ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	F ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	G ドライブディスク容量監視	DiskFreeSpace
	プロセス詳細情報収集	AllProc
	プロセス詳細情報収集（x64）	AllProc
	NIC1 ネットワーク帯域使用率監視	NetworkUtilization
	NIC1 ネットワーク受信バイト率	未使用
	NIC1 ネットワーク送信バイト率	未使用
	NIC1 ネットワーク受信エラー発生回数	PerfNICPacketRcvErr
	NIC1 ネットワーク送信エラー発生回数	PerfNICPacketOutbErr
	NIC2 ネットワーク帯域使用率監視	NetworkUtilization
	NIC2 ネットワーク受信バイト率	未使用
	NIC2 ネットワーク送信バイト率	未使用
	NIC2 ネットワーク受信エラー発生回数	PerfNICPacketRcvErr
	NIC2 ネットワーク送信エラー発生回数	PerfNICPacketOutbErr
ログ監視	システムログ監視	Evtlog
	アプリケーションログ監視	Evtlog
PING 監視	IP アドレスまたは機器名称 1	PingResponse
	IP アドレスまたは機器名称 2	PingResponse
	IP アドレスまたは機器名称 3	PingResponse
	IP アドレスまたは機器名称 4	PingResponse
	IP アドレスまたは機器名称 5	PingResponse

監視テンプレート名：セキュリティログレポート用

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
セキュリティログレポート用	セキュリティログ監視	Evtlog

監視テンプレート以外の項目について

監視項目名	出力テーブル名
サービス監視	Service
ポート監視	Port

※　サービス監視、ポート監視を詳細グラフで表示するには、BOM7.0 レポートデータベース設定ウィザードにより追加の設定が必要です。追加の設定方法は“BOMW7.0-Report オプションユーザーズマニュアル”を参照ください。
すでに BOM7.0 レポートデータベースの設定を一度行い、追加で上記項目のレポート出力する場合には、BOM レポートデータベースの再作成が必要です。レポートデータベースの削除、レポートデータベースの作成の詳細については“BOMW7.0-Report オプションユーザーズマニュアル”を参照ください。BOM レポートデータベースを再作成しても元データであるアーカイブサーバーのデータが削除されることはありません。

2.1.3 サマリー情報の診断結果

サーバー診断レポートの診断結果は、平均値と最大値を考慮して設定します。

● 診断結果

サーバー診断レポートで表示される診断結果およびアイコンは、以下の値で設定しております。

診断項目名	正常（余力あり）	正常	注意	高負荷
CPU 負荷状況	平均 25%未満	平均 50%未満	平均 75%未満	平均 75%以上
メモリ使用状況	平均 25%未満	平均 50%未満	平均 75%未満	平均 75%以上
仮想メモリ使用状況	平均 25%未満	平均 50%未満	平均 75%未満	平均 75%以上
ハードディスク アクセス状況	平均 25%未満	平均 50%未満	平均 75%未満	平均 75%以上
ハードディスク 使用率	平均 25%未満	平均 50%未満	平均 75%未満	平均 75%以上
帯域状況	平均 25%未満	平均 50%未満	平均 75%未満	平均 75%以上
IN/OUT 損失発生回数	―	0 件/日	1 件/日未満	1 件/日以上

● コメント

サーバー診断レポートのコメントは、診断結果を元に、最大値の情報を加味して設定しております。

なお、以下の表で“（平均値）”、“（日時）”、“（最大値）”、“（ドライブ名）”、“（NIC 名）”と表記している箇所には、実際の監視コンピューターの情報が入ります。

CPU 負荷状況			
	診断結果	最大値	コメント
	正常（余力あり）	最大 50%未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）であり問題ありません。
		最大 75%未満	CPU 使用率は平均（平均値）です。最大値は（日時）に（最大値）であり、この時間に負荷のかかるタスクが動作していると考えられます。
		最大 75%以上	CPU 使用率は平均（平均値）です。最大値は（日時）に（最大値）であり、この時間に負荷のかかるタスクが動作していると考えられます。
	正常	最大 50%未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
		最大 75%未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
		最大 75%以上	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
	注意	最大 75%未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。可能であれば CPU の追加をお勧めします。
		最大 75%以上	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。可能であれば CPU の追加をお勧めします。
	高負荷	最大 75%以上	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。早急な上位機種へのアップグレードをお勧めします。

メモリ使用状況			
	診断結果	最大値	コメント
	正常（余力あり）	－	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。
	正常	－	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、良好な状態です。
	注意	－	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、タスクの追加等は控えられることをお勧めします。
	高負荷	－	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、物理メモリの増設をお勧めします。

仮想メモリ使用状況			
	診断結果	最大値	コメント
	正常 （余力あり）	－	仮想メモリ使用量は平均（平均値）であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。
	正常	－	仮想メモリ使用量は平均（平均値）であり、良好な状態です。
	注意	－	仮想メモリ使用量は平均（平均値）であり、タスクの追加等は控えられることをお勧めします。
	高負荷	－	仮想メモリ使用量は平均（平均値）であり、物理メモリの増設をお勧めします。

ハードディスク アクセス状況			
	診断結果	最大値	コメント
	正常 （余力あり）	最大 50%未満	ハードディスクアクセス率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）であり問題ありません。
		最大 75%未満	ハードディスクアクセス率は平均（平均値）です。最大値は（日時）に（最大値）であり、この時間に負荷のかかるタスクが動作していると考えられます。
		最大 75%以上	ハードディスクアクセス率は平均（平均値）です。最大値は（日時）に（最大値）であり、この時間に負荷のかかるタスクが動作していると考えられます。
	正常	最大 50%未満	ハードディスクアクセス率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
		最大 75%未満	ハードディスクアクセス率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
		最大 75%以上	ハードディスクアクセス率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
	注意	最大 75%未満	ハードディスクアクセス率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。物理メモリの増設をお勧めします。
		最大 75%以上	ハードディスクアクセス率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。物理メモリの増設をお勧めします。
	高負荷	最大 75%以上	ハードディスクアクセス率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。物理メモリの増設をお勧めします。

ハードディスク 使用率		
診断結果	最大値	コメント
正常 （余力あり）	―	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均(平均値)であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。
正常	―	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均(平均値)であり、良好な状態です。
注意	―	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均(平均値)であり、不要なファイルがあれば、削除等の、情報の整理をお勧めします。アプリケーションの追加等を行われる場合はご注意ください。
高負荷	―	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均(平均値)であり、ハードディスクを増設し、ファイルの移動をお勧めします。

帯域状況		
診断結果	最大値	コメント
正常 （余力あり）	最大 50%未満	帯域状況((NIC 名))は平均(平均値)であり、最大値も(日時)に(最大値)であり十分に余裕があり、特に問題ありません。
	最大 75%未満	帯域状況((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、この時間に負荷のかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
	最大 75%以上	帯域状況((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、この時間に負荷のかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
正常	最大 50%未満	帯域状況((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、良好な状態です。
	最大 75%未満	帯域状況((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、この時間に負荷のかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
	最大 75%以上	帯域状況((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、この時間に負荷のかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
注意	最大 75%未満	帯域状況((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)です。ネットワークの物理構成や、回線帯域幅の見直しをお勧めします。
	最大 75%以上	帯域状況((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)です。ネットワークの物理構成や、回線帯域幅の見直しをお勧めします。
高負荷	最大 75%以上	帯域状況((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)です。ブロードキャストストーム等のトラブル発生や、ウィルスによる不要トラフィックの発生が疑われます。詳細な調査をお勧めします

損失発生回数（IN/OUT）			
	診断結果	最大値	コメント
	正常 （余力あり）	－	－
	正常	－	－
	注意	－	（NIC 名）でパケット損失が発生しています。問題のないレベルですが、念のため調査をお勧めします。
	高負荷	－	（NIC 名）でパケット損失が（平均値）です。ハードウェアの調査が必要です。

Ping			
	診断結果	最大値	コメント
	正常 （余力あり）	－	（監視先）との疎通に問題はありません。
	注意	－	（監視先）との疎通に遅延が発生しています。問題のないレベルですが、念のため調査をお勧めします
	高負荷	－	（監視先）との疎通に遅延が発生しています。ハードウェアおよびネットワーク機器の調査が必要です。

2.2 過去比較情報（Windows）

出力期間を元に、前回・前々回とのサマリー情報を比較するためのレポートです。

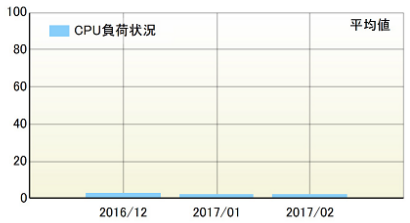
サーバー診断レポート－過去比較　YI-EX-SQLSV12　　2017/02/01 ～ 2017/02/28　1　　2017年02月

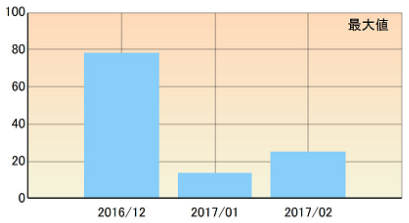
過去比較情報

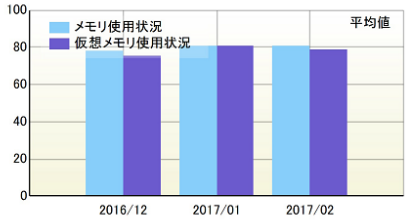
◆サーバー診断結果

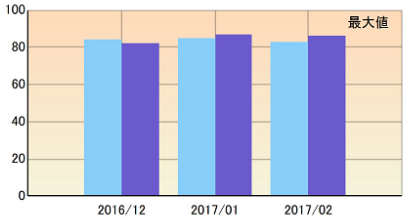
診断項目（%）		2016/12月		2017/01月		2017/02月	
		平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値
CPU負荷状況		3.01	78.00	2.32	14.00	2.25	25.00
メモリ使用状況		78.25	84.44	80.57	84.76	80.89	82.97
仮想メモリ使用状況		75.71	82.00	80.76	87.00	78.87	86.00
ハードディスクアクセス状況		3.58	296.00	2.06	53.00	1.95	55.00
ハードディスク使用率	C:	63.29	73.92	64.83	65.41	66.65	66.85
	D:	31.35	31.53	31.40	31.49	31.49	31.49

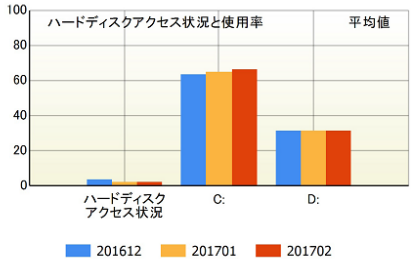
2

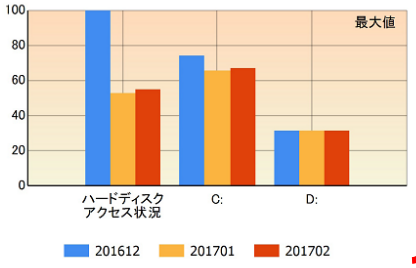












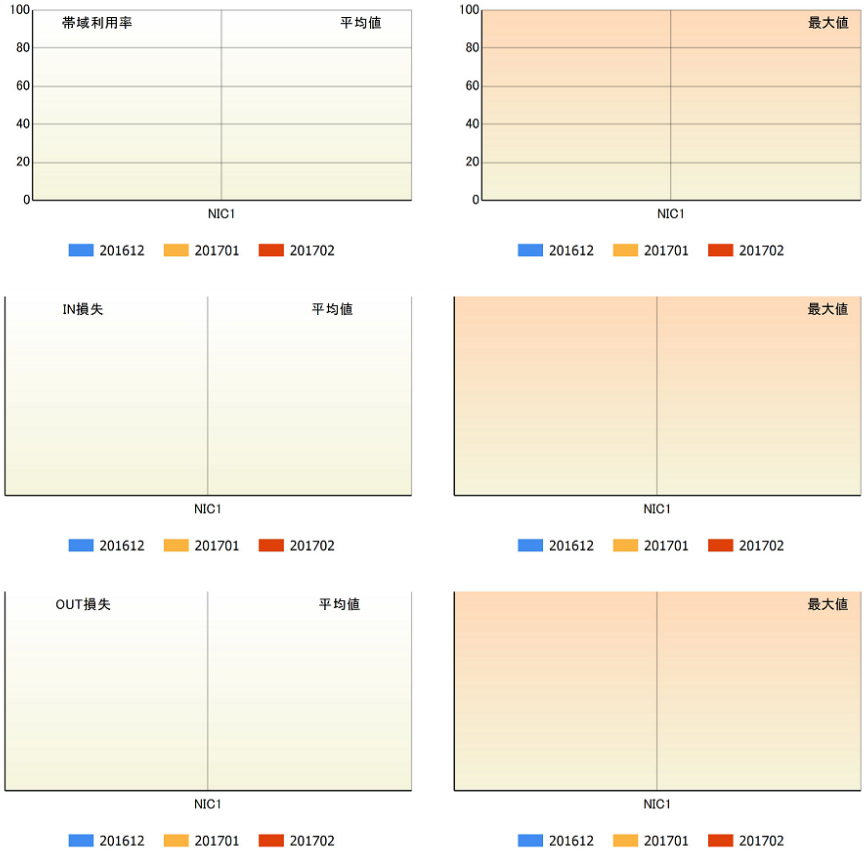
3

1/2　　BOM for Windows

◆ネットワーク診断結果

診断項目	帯域利用率:%、損失:回/日	2016/12月		2017/01月		2017/02月	
		平均値	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値
NIC1 Intel[R] 82574L Gigabit Network Connection	帯域利用率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	IN損失	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	OUT損失	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

4



5

2/2

BOM for Windows

2.2.1 各項目について

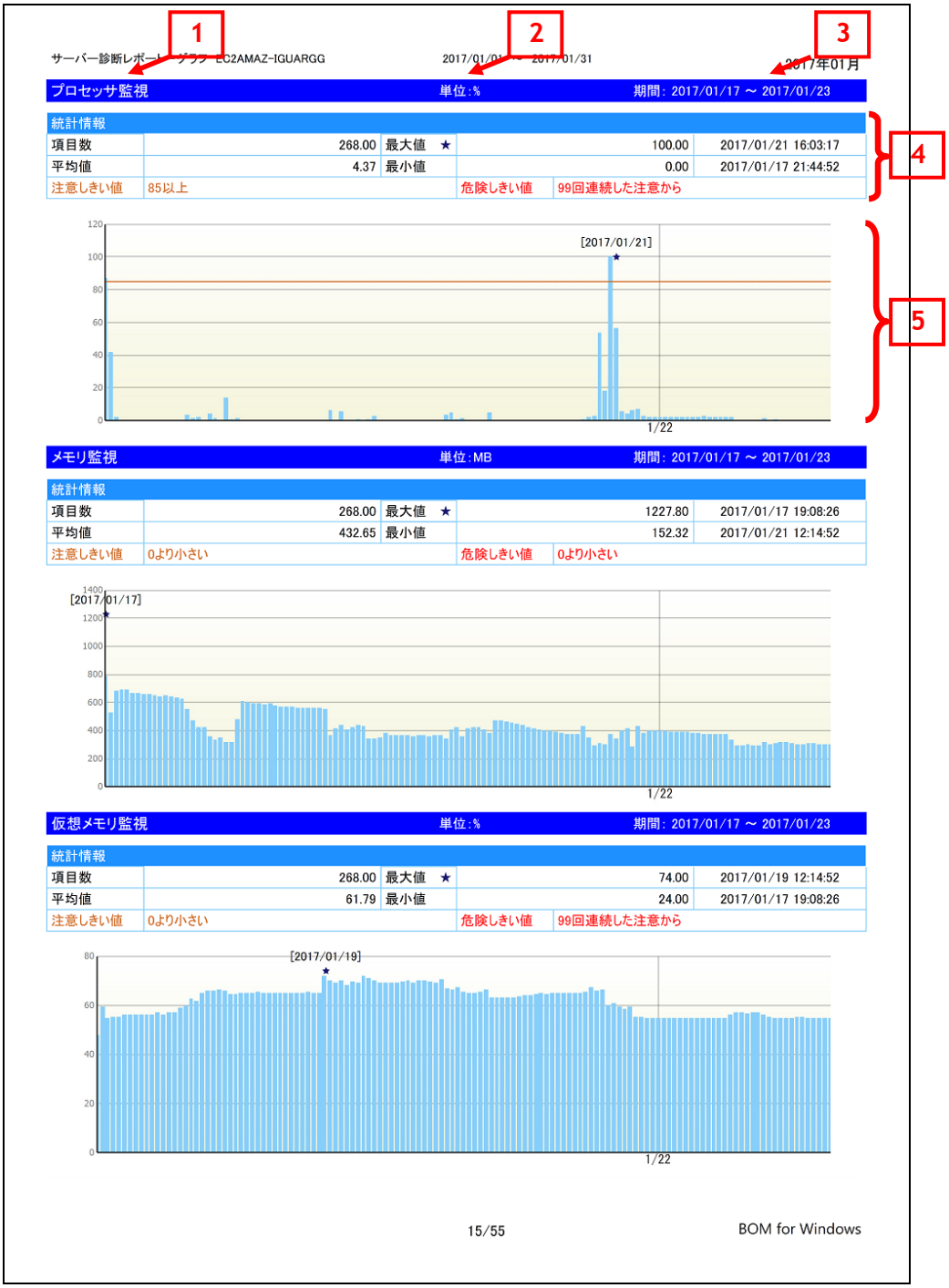
No	説明
1	BOM7.0 レポート出力ウィザードで指定した出力期間の開始月を表示します。
2	コンピューターリソースの診断結果を、今回、前回、前々回の 3 回分を表示します。 診断結果自体は、サーバー診断レポートで集計した情報を使用します。
3	コンピューターリソースの診断結果過去比較をグラフにまとめて表示します ※サンプリング期間毎に監視データの平均値を算出している為、最大値、最小値などが必ずしもグラフ上に表示されるわけではありません ※グラフの表示スケール上限は 100%ですが、監視結果が 100%を超えることがあります これは Microsoft 社の仕様であり BOM の不具合ではありません
4	ネットワークトラフィックの診断結果を、今回、前回、前々回の 3 回分を表示します。 診断結果自体は、サーバー診断レポートで集計した情報を使用します。
5	ネットワークトラフィックの診断結果過去比較をグラフにまとめて表示します

2.2.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.3 詳細グラフ情報（Windows）

各監視項目毎に稼働状況をグラフにまとめたレポートです。インスタンス上の監視項目をグラフにして表示します。



2.3.1 各項目について

No	説明
1	監視項目名を表示します
2	監視項目で設定している単位を表示します
3	監視項目で取得したデータのサンプリング期間を表示します
4	監視項目で取得したデータの統計情報を表示します
5	監視項目で取得したデータをグラフで表示します ※サンプリング期間毎に監視データの平均値を算出している為、最大値、最小値などが必ずしもグラフ上に表示されるわけではありません ※ディスクアクセス監視の表示スケール上限は 100%ですが、監視結果が 100%を超えることがあります これは Microsoft 社の仕様であり BOM の不具合ではありません

2.3.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.3.3 特定の監視項目における値について

特定の監視項目では、監視結果をグラフ化するために固定値を使用しています。

監視項目	値	値の意味
サービス監視	1	停止
	2	開始中
	3	停止中
	4	開始
	5	再開中
	6	一時停止中
	7	一時停止
ポート監視	1	ポートは閉鎖状態
	4	ポートは解放状態

2.4 システム基本情報（Windows）

監視コンピューターの OS 名など、システムの基本情報をまとめたレポートです。

サーバー診断レポート－基本情報 EC2AMAZ-IGUARGG 2017/01/01 ～ 2017/01/31 2017年01月

システム基本情報

項目名	項目値
コンピューター名	EC2AMAZ-IGUARGG
OS名	Microsoft Windows Server 2016 Datacenter
バージョン	
OSインストール日時	2017/01/17 00:56
OSプロダクトID	00376-40000-00000-AA042
システム製造元	Xen
システムモデル	HVM domU
システムの種類	x64-based PC
シリアル番号	ec2a7d06-eb73-3c21-3674-332529a7bfef
プロセッサ	Intel(R) Xeon(R) CPU E5-2676 v3 @ 2.40GHz
組織名	Amazon.com
利用者	EC2
物理メモリ容量	2096752 KB (1.999619 GB)
仮想メモリ容量	3276400 KB (3.124619 GB)

ハードディスク容量

ドライブ名	容量
C:	30.00 GB
D:	30.00 GB

25/55 BOM for Windows

2.4.1 各項目について

項目名	説明
コンピューター名	監視コンピューターのコンピューター名を表示します
OS 名	監視コンピューターの OS 名を表示します
バージョン	監視コンピューターのサービスパックのバージョンを表示します
OS インストール日時	監視コンピューターの OS を導入した日時を表示します
OS プロダクト ID	監視コンピューターの OS プロダクト ID を表示します
システム製造元	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）製造元を表示します
システムモデル	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）名を表示します
システムの種類	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）の種類を表示します
シリアル番号	監視コンピューターに登録されている OS のシリアル番号を表示します
プロセッサ	監視コンピューターに搭載されているプロセッサの種類を表示します
組織名	監視コンピューターに登録されている組織名を表示します
利用者	監視コンピューターに登録されている利用者名を表示します
物理メモリ容量	監視コンピューターに搭載されている物理メモリの容量を表示します
仮想メモリ容量	監視コンピューターに設定されている仮想メモリの容量を表示します
ハードディスク容量	監視コンピューターに設定されているハードディスクのドライブ名、容量を表示します

※　それぞれの項目は、情報の取得に失敗した場合は表示されません

2.4.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.5 ハードウェア情報（Windows）

監視コンピューターに搭載されているハードウェアを一覧にまとめたレポートです。

サーバー診断レポート－ハードウェア EC2AMAZ-IGUARGG 2017/01/01 ～ 2017/01/31 2017年01月

ハードウェア情報

項番	カテゴリ	ハードウェア名	詳細情報	
1	マザーボード	マザーボード		
2	プロセッサ	Intel(R) Xeon(R) CPU E5-2676 v3 @ 2.40GHz	Intel64 Family 6 Model 63 Stepping 2	
3	メモリ	メモリ デバイス		
4	メモリ	メモリ配列		
5	IDE ATA/ATAPI コントローラー	ATA Channel 0	IDE Channel	
6	IDE ATA/ATAPI コントローラー	ATA Channel 1	IDE Channel	
7	IDE ATA/ATAPI コントローラー	Intel(R) 82371SB PCI Bus Master IDE Controller		
8	SCSI と RAID コントローラー	AWS PV Storage Host Adapter		
9	SCSI と RAID コントローラー	Microsoft Storage Spaces Controller		
10	SCSI と RAID コントローラー	Microsoft VHD Loopback Controller		
11	ディスク ドライブ	ディスク #0, パーティション #0	インストールできるファイル システム	
12	ディスク ドライブ	ディスク #1, パーティション #0	インストールできるファイル システム	
13	ディスク ドライブ	¥¥.¥PHYSICALDRIVE0	Disk drive	
14	ディスク ドライブ	¥¥.¥PHYSICALDRIVE1	Disk drive	
15	論理ドライブ	C:	ローカル固定ディスク	
16	論理ドライブ	D:	ローカル固定ディスク	
17	システム	バス		
18	プラグ アンド プレイ デバイス			
19	プラグ アンド プレイ デバイス	ACPI Fixed Feature Button		
20	プラグ アンド プレイ デバイス	ACPI x64-based PC		
21	プラグ アンド プレイ デバイス	ATA Channel 0	IDE Channel	
22	プラグ アンド プレイ デバイス	ATA Channel 1	IDE Channel	
23	プラグ アンド プレイ デバイス	AWS Interface		
24	プラグ アンド プレイ デバイス	AWS PV Bus (0001)	AWS PV Bus	
25	プラグ アンド プレイ デバイス	AWS PV Network Class		
26	プラグ アンド プレイ デバイス	AWS PV Network Device #0	AWS PV Network Device	
27	プラグ アンド プレイ デバイス	AWS PV Storage Host Adapter		
28	プラグ アンド プレイ デバイス	AWS PVDISK SCSI Disk Device	Disk drive	
29	プラグ アンド プレイ デバイス	Brother PT-P950NW (リダイレクト 2) (リダイレクト 2)	Local Print Queue	削除
30	プラグ アンド プレイ デバイス	Canon LBP3500 - say-prn (リダイレクト 2) (リダイレクト 2)	Local Print Queue	削除
31	プラグ アンド プレイ デバイス	Communications Port (COM1)	Communications Port	
32	プラグ アンド プレイ デバイス	Composite Bus Enumerator		
33	プラグ アンド プレイ デバイス	CPU to PCI Bridge		

1

26/55 BOM for Windows

2.5.1 各項目について

No	説明
1	監視コンピューターに搭載されているハードウェアを一覧に表示します。 出力期間内に、追加または削除されたハードウェアは背景色を変更して表示します 追加された場合の背景色：黄色 削除された場合の背景色：グレー

2.5.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.6 ソフトウェア情報（Windows）

監視コンピューターに導入されているソフトウェアを一覧にとまとめたレポートです。

一覧に出力される条件は監視コンピューターの OS 上で管理されているアプリケーションのみレポートされます

サーバー診断レポートーソフトウェア YI-EX-SQLSV12 2016/12/01 ～ 2016/12/31 2016年12月

ソフトウェア情報

項番	ソフトウェア名	ベンダー	バージョン	インストール日付	
1	Adobe Acrobat Reader DC - Japanese	Adobe Systems Incorporated	15.020.20042	2016/11/04	
2	Adobe Refresh Manager	Adobe Systems Incorporated	1.8.0	2016/11/10	
3	arcserve UDP Agent	CA, Inc.	5.0.1897	2016/01/22	
4	arcserve UDP Recovery Point Server	会社名	5.0.1897	2016/01/22	
5	arcserve Unified Data Protection	CA, Inc.	5.0.1897		
6	arcserve Unified Data Protection Setup Support Files	会社名	5.0.1897	2016/01/22	
7	BOM for Windows Ver.6.0 SR2	セイ・テクノロジーズ株式会社	6.0.20	2016/10/06	削除
8	BOM for Windows Ver.6.0 SR2	セイ・テクノロジーズ株式会社	6.0.20	2016/12/15	追加
9	BOM for Windows Ver.7.0	セイ・テクノロジーズ株式会社	7.0.0	2016/12/15	追加
10	CALicense	CA	1.90.06.02	2016/01/22	
11	cis-upgrade-runner	VMware, Inc.	6.0.0.17123	2015/05/07	
12	Job Director(CL/Win) R13.2.1.2	NEC Corporation	13.2.1.2		
13	LicenseManager	NEC Corporation	1.7.1	2015/05/18	
14	Microsoft .NET Framework 4 Multi-Targeting Pack	Microsoft Corporation	4.0.30319	2014/03/17	
15	Microsoft Application Error Reporting	Microsoft Corporation	12.0.6012.5000	2014/03/18	
16	Microsoft Help Viewer 1.1	Microsoft Corporation	1.1.40219	2014/03/17	
17	Microsoft Help Viewer 1.1 Language Pack - JPN	Microsoft Corporation	1.1.40219	2014/03/17	
18	Microsoft Office Access MUI (Japanese) 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	
19	Microsoft Office Excel MUI (Japanese) 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	
20	Microsoft Office Groove MUI (Japanese) 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	
21	Microsoft Office IME (Japanese) 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	
22	Microsoft Office InfoPath MUI (Japanese) 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	
23	Microsoft Office Office 64-bit Components 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	
24	Microsoft Office OneNote MUI (Japanese) 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	
25	Microsoft Office Outlook MUI (Japanese) 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	
26	Microsoft Office PowerPoint MUI (Japanese) 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	
27	Microsoft Office Professional Plus 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000		
28	Microsoft Office Professional Plus 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	
29	Microsoft Office Proof (English) 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	
30	Microsoft Office Proof (Japanese) 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	
31	Microsoft Office Proofing (Japanese) 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	
32	Microsoft Office Publisher MUI (Japanese) 2010	Microsoft Corporation	14.0.4763.1000	2015/02/10	

1

5/9 BOM for Windows

2.6.1 各項目について

No	説明
1	監視コンピューターに搭載されているソフトウェアを一覧に表示します。 出力期間内に、追加または削除されたソフトウェアは背景色を変更して表示します 追加された場合の背景色：黄色 削除された場合の背景色：グレー

2.6.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.7 ハードウェア・ソフトウェア差分情報（Windows）

“ハードウェア情報”レポートおよび、“ソフトウェア情報”レポートから、前回との差分だけ抽出したレポートです

前回と比較して、追加または削除された内容のみを表示します。前回との差分がない場合には出力されません。

サーバー診断レポートーハードウェア・ソフトウェア差分情報
YI-EX-SQLSV12　　2016/12/01 ～ 2016/12/31　　2016年12月

ハードウェア・ソフトウェア差分情報

◆ハードウェア差分情報

項番	カテゴリ	ハードウェア名	詳細情報	状態
1	プラグ アンド プレイ デバイス	Remote Desktop Keyboard Device		削除
2	プラグ アンド プレイ デバイス	Remote Desktop Mouse Device		削除
3	プラグ アンド プレイ デバイス	RICOH Class Driver - say-prn (リダイレクト 2)	Local Print Queue	削除
4	プリンター	RICOH Class Driver - say-prn (リダイレクト 2)		削除
5	キーボード	日本語	Remote Desktop Keyboard Device	削除
6	マウス／その他のポインティングデバイス	Remote Desktop Mouse Device		削除

◆ソフトウェア差分情報

項番	ベンダー	ソフトウェア名	バージョン	状態
1	セイ・テクノロジーズ株式会社	BOM for Windows Ver.6.0 SR2	6.0.20	削除
2	セイ・テクノロジーズ株式会社	BOM for Windows Ver.6.0 SR2	6.0.20	追加
3	セイ・テクノロジーズ株式会社	BOM for Windows Ver.7.0	7.0.0	追加
4	Microsoft Corporation	Update for Japanese Microsoft IME Standard Dictionary	15.0.1215	削除
5	Microsoft Corporation	Update for Japanese Microsoft IME Standard Dictionary	15.0.2013	追加
6	Microsoft Corporation	Update for Japanese Microsoft IME Standard Extended Dictionary	15.0.1215	削除
7	Microsoft Corporation	Update for Japanese Microsoft IME Standard Extended Dictionary	15.0.2013	追加

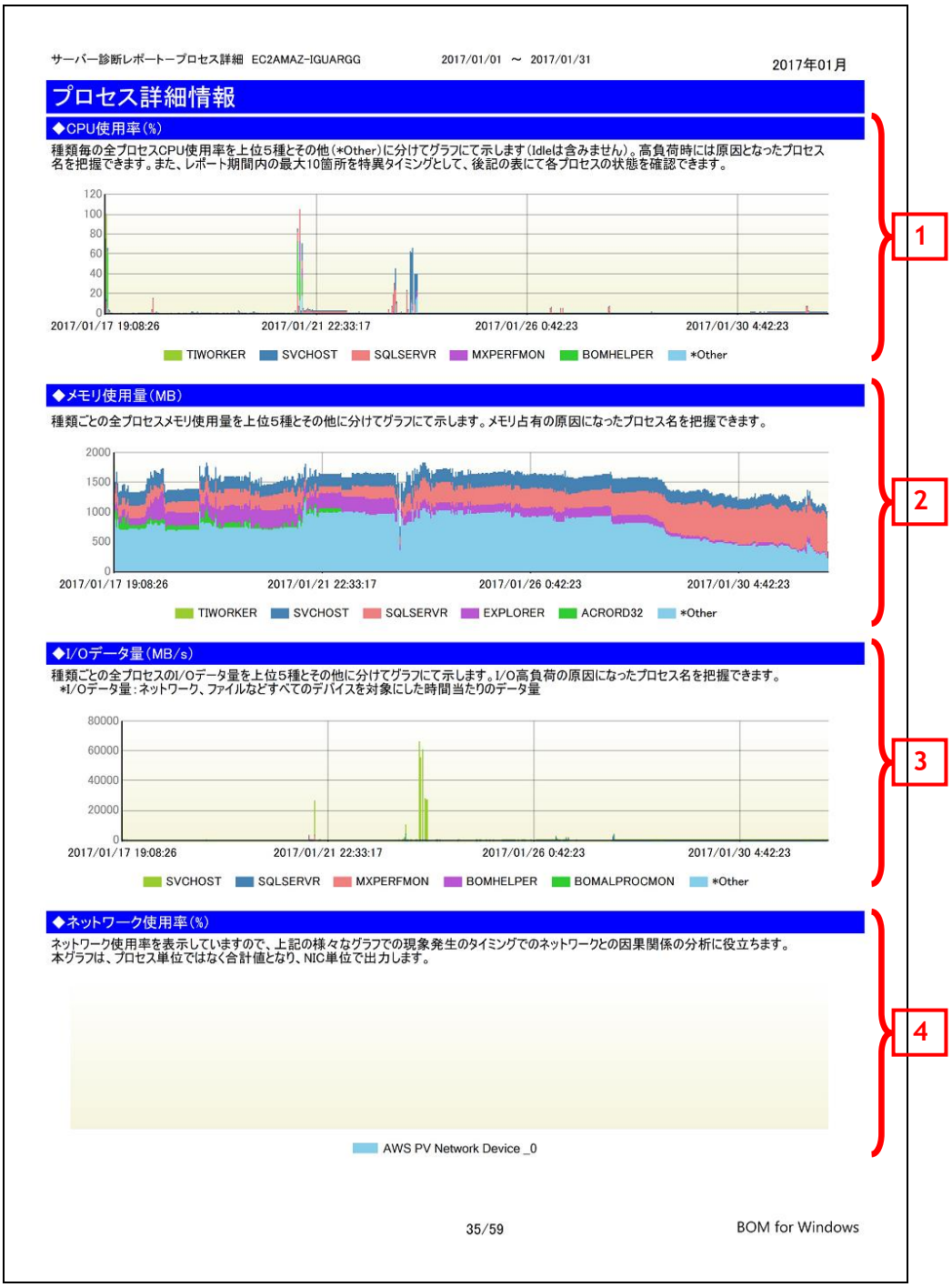
9/9　　BOM for Windows

2.8 プロセス詳細情報（Windows）

監視コンピューターで動作するプロセスのリソース使用状況をまとめたレポートです。

1 ページ目はプロセスのリソース使用状況をグラフで、2 ページ目は特にリソースの使用率が高い日時を表にレポートします。

1 ページ目



2 ページ目

◆CPU使用率特異点リスト

特異点は、CPU使用率の降順です。1つの特異点内の上位5プロセスとその他(*Other)も降順の表示です。
1つの特異点内で、*Otherは必ず表示されますが、該当する上位5プロセスが存在しない場合、プロセス名自体が表示されません。

No	特異点日時	プロセス名	CPU使用率(%)	メモリ使用量(MB)	I/Oデータ量(MB/s)
1	2017/01/23 12:44:43	TIWORKER	86.18	222.13	1639.08
		SQLSERVR	9.42	131.42	17.89
		*Other	0.25	0.00	0.00
		SVCHOST	0.12	299.92	84.32
		BOMHELPER	0.00	10.24	0.00
		MXPERFMON	0.00	11.44	0.00
2	2017/01/17 19:08:26	SVCHOST	75.41	176.75	17253.18
		BOMHELPER	0.00	10.69	0.00
		MXPERFMON	0.00	11.18	0.00
		*Other	0.00	0.00	0.00
3	2017/01/21 13:30:49	BOMHELPER	72.64	14.54	2498.02
		SVCHOST	2.96	235.79	60.02
		MXPERFMON	0.00	10.43	0.00
		*Other	0.00	0.00	0.00
		SQLSERVR	0.00	290.33	13.28
4	2017/01/23 18:17:47	SVCHOST	62.98	293.76	66202.41
		BOMHELPER	0.00	14.05	0.00
		SQLSERVR	0.00	218.43	0.00
		MXPERFMON	0.00	11.65	0.00
		*Other	0.00	0.00	0.00
5	2017/01/23 19:35:08	SVCHOST	57.44	267.25	60676.34
		MXPERFMON	5.74	11.52	0.00
		*Other	2.87	0.00	0.00
		BOMHELPER	0.00	14.20	0.00
		SQLSERVR	0.00	266.44	0.00
6	2017/01/17 19:44:52	BOMHELPER	55.91	14.49	69.07
		SQLSERVR	11.77	174.19	99.90
		*Other	5.88	0.00	0.00
		SVCHOST	2.94	201.36	91.59
		MXPERFMON	0.00	10.73	0.00
7	2017/01/23 18:59:36	SVCHOST	48.55	294.98	55401.47
		*Other	11.05	0.00	0.00
		MXPERFMON	2.21	11.30	0.00
		BOMHELPER	0.00	14.10	0.00
		SQLSERVR	0.00	411.42	28.26
8	2017/01/21 15:46:02	BOMHELPER	38.55	14.63	53.88
		MXPERFMON	20.41	6.00	0.00
		*Other	13.61	0.00	0.00
		SQLSERVR	6.80	114.77	262.79
		SVCHOST	0.00	241.64	68.67
9	2017/01/21 15:53:06	SQLSERVR	32.43	103.27	467.68
		SVCHOST	2.95	242.01	198.51
		MXPERFMON	0.00	10.56	0.00
		BOMHELPER	0.00	14.61	0.00
		*Other	0.00	0.00	0.00
10	2017/01/23 20:35:56	SVCHOST	31.65	254.80	27631.92
		*Other	0.00	0.00	0.00
		SQLSERVR	0.00	365.62	0.00
		BOMHELPER	0.00	14.17	0.00
		MXPERFMON	0.00	11.43	0.00

5

36/59

BOM for Windows

2.8.1 各項目について

No	説明
1	監視コンピューターで動作するプロセスのうち、全プロセスの CPU 使用率を上位5種とその他(*Other)に分けてグラフにて示します(Idle は含みません)。
2	監視コンピューターで動作するプロセスのうち、全プロセスのメモリ使用量を上位5種とその他に分けてグラフにて示します
3	監視コンピューターで動作するプロセスのうち、全プロセスの I/O データ量を上位5種とその他に分けてグラフにて示します
4	監視コンピューターのネットワーク使用率をグラフで表示します
5	出力期間内で、特にリソース使用率が高い日時を上位から 10 抽出し、プロセス名と利用状況を一覧で表示します

2.8.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.9 ディスククォータ情報（Windows）

監視コンピューターのディスククォータ情報をまとめたレポートです

サーバー診断レポートーディスククォータ Q1-W16-05　　2016/12/01 ～ 2017/02/28　　2016年12月

ディスククォータ情報

複数ユーザーが共有しているドライブに対して、ユーザー単位で使用容量制限を設定するディスククォータの一覧表を示します。
制限量の設定がない場合と設定された初回時は、「前回差」は"－"となります。
クォータ使用量が警告量を超えると「クォータ使用率」が警告色の背景になり、使用率の前回との差が5%を超えると「前回差」が警告色の背景になります。

◆ドメイン別使用量

ドメイン	ドライブ	クォータ使用率（%）	前回差（%）	クォータ割当量（MB）	ドライブ容量（GB）
NT SERVICE	C:	15.69	-0.08	73728.00	79.51
Q1-W16-05	C:	32.36	0.30	31744.00	79.51
Q1-W16-05	E:	42.06	41.47	2048.00	10.00
Q1-W16-05	F:	0.29	0.00	4196.00	10.00
Q1-W16-05	H:	0.79	0.00	1524.00	10.00

1

◆ログオン名別使用量

ログオン名	ドライブ	クォータ使用率（%）	前回差（%）	警告量（MB）	制限量（MB）
NT SERVICE¥MapsBroker	C:	0.00	0.00	500.00	5120.00
NT SERVICE¥MsDtsServer130	C:	0.06	0.00	100.00	1024.00
NT SERVICE¥MSSQLFDLauncher	C:	0.01	0.00	50.00	10240.00
NT SERVICE¥MSSQLLaunchpad	C:	0.02	0.00	800.00	3072.00
NT SERVICE¥MSSQLSERVER	C:	125.18	-1.81	2000.00	3072.00
NT SERVICE¥MSSQLServerOLAPService	C:	0.03	-0.03	500.00	5120.00
NT SERVICE¥ReportServer	C:	0.34	0.00	600.00	5120.00
NT SERVICE¥SQLSERVERAGENT	C:	0.01	0.00	300.00	5120.00
NT SERVICE¥SQLTELEMETRY	C:	0.01	0.00	100.00	10240.00
NT SERVICE¥SSASTELEMETRY	C:	0.01	0.00	0.49	5120.00
NT SERVICE¥SSISTELEMETRY130	C:	0.01	0.00	0.49	10240.00
NT SERVICE¥TrustedInstaller	C:	75.21	0.00	300.00	10240.00
Q1-W16-05¥Administrator	C:	0.00	0.00	100.00	10240.00
Q1-W16-05¥Administrator	F:	0.00	—	50.00	100.00
Q1-W16-05¥LOCAL SERVICE	C:	2.57	0.22	300.00	5120.00
Q1-W16-05¥NETWORK SERVICE	C:	4.36	0.00	500.00	1024.00
Q1-W16-05¥QATEST	C:	0.79	—	100.00	10240.00
Q1-W16-05¥QATEST	E:	82.94	—	300.00	1024.00
Q1-W16-05¥QATEST	F:	0.00	—	200.00	1024.00

2

1/2　　BOM for Windows

2.9.1 各項目について

No	説明
1	ドメイン内でのクォータ割当容量に対する使用容量をもとにクォータ使用率を算出して表示します
2	各ユーザーのクォータ割当容量に対する使用容量をもとにクォータ使用率を算出して表示します

2.9.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.10 アプリケーションログ情報（Windows）

監視コンピューターのイベントログ監視（アプリケーション）の結果を簡単にまとめたサマリーレポートです。

サーバー診断レポートーアプリケーションログ　EC2AMAZ-IGUARGG　2017/01/01 ～ 2017/01/31　2017年01月

アプリケーションログ情報（ソース別サマリー）

構成変更や障害、セキュリティ監査など、OSで発生する様々な事象を記録するイベントログを期間内のサマリーとしてイベントソース毎の構成と詳細を表にて示します。日常運用やトラブル発生時の対処、リソース計画などへの管理者の情報源になります。

◆ログ構成

ソース	エラー	警告	合計
.NET Runtime	3		3
Application Error	13		13
ESENT	4		4
Microsoft-Windows-Perflib	1		1
Microsoft-Windows-PerfNet	1		1
Microsoft-Windows-WMI		2	2
MsiInstaller	2	24	26
MSSQLSERVER	5		5
合計	29	26	55

1

◆ログメッセージ概要

初回発生日時	最終発生日時	ソース	イベントID	種類	発生回数	メッセージ
2017/01/17 19:45:06	2017/01/17 19:45:06	.NET Runtime	1023	エラー	1	アプリケーション:ScenarioEngine.exe フレームワークのバージョン:v4.0.30319 説明: .NET ランタイムの内部エラーのため、プロセスが中止されました IP 00007FF8B8C03137 (00007FF8B87C0000)、終了コード 80131506。
2017/01/17 19:45:02	2017/01/17 19:45:07	.NET Runtime	1026	エラー	2	アプリケーション:LandingPage.exe フレームワークのバージョン:v4.0.30319 説明: ハンドルされない例外のため、プロセスが中止されました。 例外情報:System.Runtime.InteropServices.SEHException 場所 System.Reflection.RuntimeAssembly.GetSimpleName (System.Reflection.RuntimeAssembly, System.Runtime.CompilerServices.StringHandleOnStack) 場所 System.Reflection.RuntimeAssembly.GetSimpleName() 場所 System.Reflection.RuntimeAssembly.GetName (Boolean) 場所 System.Windows.Forms.ThreadExceptionDialog..ctor (System.Exception) 場所 System.Windows.Forms.Application+ThreadContext.OnThreadException(System.Exception) 場所 System.Windows.Forms.Control.WndProcException (System.Exception) 場所 System.Windows.Forms.NativeWindow.Callback (IntPtr, Int32, IntPtr, IntPtr)

2

37/55　BOM for Windows

2.10.1 各項目について

No	説明
1	メッセージの種類毎に件数を報告します
2	メッセージの種類が“重大”、“エラー”、または“失敗の監査”であれば、同一のイベントソース、イベント ID について件数を集計し、集計した同類のメッセージ毎に表示します

2.10.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.11 システムログ情報（Windows）

監視コンピューターのイベントログ監視（システム）の結果を簡単にまとめたサマリーレポートです。

サーバー診断レポートーシステムログ EC2AMAZ-IGUARGG 2017/01/01 ～ 2017/01/31 2017年01月

システムログ情報（ソース別サマリー）

構成変更や障害、セキュリティ監査など、OSで発生する様々な事象を記録するイベントログを期間内のサマリーとしてイベントソース毎の構成と詳細を表にて示します。日常運用やトラブル発生時の対処、リソース計画などへの管理者の情報源になります。

◆ログ構成

ソース	エラー	合計
Microsoft-Windows-DistributedCOM	18	18
合計	18	18

1

◆ログメッセージ概要

初回発生日時	最終発生日時	ソース	イベントID	種類	発生回数	メッセージ
2017/01/22 13:32:13	2017/01/23 6:32:14	Microsoft-Windows-DistributedCOM	10016	エラー	18	アプリケーション固有 のアクセス許可の設定では、CLSID {D63B10C5-BB46-4990-A94F-E40B9D520160} および APPID {9CA88EE3-ACB7-47C8-AFC4-AB702511C276} の COM サーバー アプリケーションに対するローカルアクティブ化のアクセス許可を、アプリケーション コンテナー 利用不可 SID (利用不可) で実行中のアドレス LocalHost (LRPC 使用) のユーザー EC2AMAZ-IGUARGG¥bomadmin SID (S-1-5-21-3323968862-3337577847-927152355-1000) に与えることはできません。このセキュリティ アクセス許可は、コンポーネント サービス管理ツールを使って変更できます。

2

40/55 BOM for Windows

2.11.1 各項目について

No	説明
1	メッセージの種類毎に件数を報告します
2	メッセージの種類が“重大”、“エラー”、または“失敗の監査”であれば、同一のイベントソース、イベント ID について件数を集計し、集計した同類のメッセージ毎に表示します

2.11.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.12 セキュリティログ情報（Windows）

監視コンピューターのイベントログ監視（セキュリティ）の結果を簡単にまとめたサマリーレポートです。

サーバー診断レポートーセキュリティログ EC2AMAZ-IGUARGG 2017/01/01 ～ 2017/01/31 2017年01月

セキュリティログ情報（ソース別サマリー）

構成変更や障害、セキュリティ監査など、OSで発生する様々な事象を記録するイベントログを期間内のサマリーとしてイベントソース毎の構成と詳細を表にて示します。日常運用やトラブル発生時の対処、リソース計画などへの管理者の情報源になります。

◆ログ構成

ソース	失敗の監査	成功の監査	合計
Microsoft-Windows-Security-Auditing	11554	607	12161
合計	11554	607	12161

1

◆ログメッセージ概要

初回発生日時	最終発生日時	ソース	イベントID	種類	発生回数	メッセージ
2017/01/17 19:11:02	2017/01/22 19:18:58	Microsoft-Windows-Security-Auditing	4799	成功の監査	21	セキュリティが有効なローカル グループ メンバーシップが列挙されました。 サブジェクト: セキュリティ ID: SYSTEM アカウント名: EC2AMAZ-IGUARGG$ アカウント ドメイン: WORKGROUP ログオン ID: 0x3E7 グループ: セキュリティ ID: Administrators グループ名: Administrators グループ ドメイン: Builtin プロセス情報: プロセス ID: 0x60
2017/01/17 19:10:58	2017/01/23 6:32:14	Microsoft-Windows-Security-Auditing	4776	成功の監査	61	コンピューターがアカウントの資格情報の確認を試行しました。 認証パッケージ: MICROSOFT_AUTHENTICATION_PACKAGE_V1_0 ログオン アカウント: bomadmin ソース ワークステーション: SATELLITEL41 エラー コード: 0x0
2017/01/17 19:23:09	2017/01/17 19:23:09	Microsoft-Windows-Security-Auditing	4731	成功の監査	1	セキュリティが有効なローカル グループが作成されました。 サブジェクト: セキュリティ ID: bomadmin アカウント名: bomadmin アカウント ドメイン: EC2AMAZ-IGUARGG ログオン ID: 0x86AD2 新しいグループ: セキュリティ ID: SQLServer2005SQLBrowserUser$EC2AMAZ-IGUARGG グループ名: SQLServer2005SQLBrowserUser$EC2AMAZ-IGUARGG グループ ドメイン: EC2AMAZ-IGUARGG 属性: SAM アカウント名: SQLServer2005SQLBrowserUser$EC2AMAZ-IGUARGG SID の履歴: - 追加情報: 特権: -

2

41/55 BOM for Windows

2.12.1 各項目について

No	説明
1	メッセージの種類毎に件数を報告します
2	メッセージの種類が“重大”、“エラー”、または“失敗の監査”であれば、同一のイベントソース、イベント ID について件数を集計し、集計した同類のメッセージ毎に表示します

2.12.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.13 セキュリティログ詳細（Windows）

監視コンピューターのセキュリティログ監視の結果をまとめたレポートです。

セキュリティログを“ログオン・ログオフ”、“ファイルアクセス”、“プロセス起動・終了”、“管理者操作”、“その他”の項目に分類し、それぞれの分類毎にログを集計後、同類メッセージ毎に表示します。

サーバー診断レポートーセキュリティログ詳細　YI-EX-SQLSV12　　2016/12/01 ～ 2016/12/31　　2016年12月

セキュリティログ詳細

◆ログオン・ログオフ

初回発生日時	最終発生日時	サーバー	ユーザー	操作	発生回数
2016/12/01 4:55:51	2016/12/31 23:58:34	YI-EX-SQLSV12	N/A	アカウントが正常にログオンしました。	16627
2016/12/01 4:55:51	2016/12/31 23:58:34	YI-EX-SQLSV12	N/A	新しいログオンに特権が割り当てられました。	16625
2016/12/01 11:17:51	2016/12/31 23:58:47	YI-EX-SQLSV12	N/A	アカウントがログオフしました。	16304
2016/12/01 13:25:21	2016/12/31 22:59:53	YI-EX-SQLSV12	N/A	明示的な資格情報を使用してログオンが試行されました。	123
2016/12/01 13:24:09	2016/12/26 16:24:25	YI-EX-SQLSV12	N/A	アカウントがログオンに失敗しました。	18
2016/12/01 11:17:51	2016/12/15 17:06:24	YI-EX-SQLSV12	N/A	ユーザー開始のログオフ	2

1

◆ファイルアクセスログ

初回発生日時	最終発生日時	サーバー	ユーザー	操作	発生回数
2016/12/01 10:01:01	2016/12/31 12:24:24	YI-EX-SQLSV12	N/A	オブジェクトに対して操作が実行されました。	12
2016/12/01 10:01:01	2016/12/31 12:24:24	YI-EX-SQLSV12	N/A	オブジェクトに対するハンドルが要求されました。	10

2

◆プロセス起動・終了ログ

初回発生日時	最終発生日時	サーバー	ユーザー	操作	発生回数
2016/12/03 12:50:12	2016/12/13 21:10:11	YI-EX-SQLSV12	N/A	プロセスが終了しました。	35
2016/12/03 16:01:07	2016/12/13 23:54:59	YI-EX-SQLSV12	N/A	新しいプロセスが作成されました。	30

3

◆管理者操作ログ

初回発生日時	最終発生日時	サーバー	ユーザー	操作	発生回数
2016/12/15 12:57:53	2016/12/15 17:40:36	YI-EX-SQLSV12	N/A	オブジェクトの監査設定が変更されました。	5991
2016/12/01 22:00:10	2016/12/31 22:00:10	YI-EX-SQLSV12	N/A	セキュリティ イベント ソースの登録解除が試行されました。	31
2016/12/01 22:00:10	2016/12/31 22:00:10	YI-EX-SQLSV12	N/A	セキュリティ イベント ソースの登録が試行されました。	31
2016/12/04 2:46:43	2016/12/26 3:43:12	YI-EX-SQLSV12	N/A	システム時刻が変更されました。	17
2016/12/15 17:29:46	2016/12/15 17:29:46	YI-EX-SQLSV12	N/A	ユーザーごとの監査ポリシー テーブルが作成されました。	1
2016/12/15 17:29:41	2016/12/15 17:29:41	YI-EX-SQLSV12	N/A	Windows を起動しています。	1

4

◆その他ログ

初回発生日時	最終発生日時	サーバー	ユーザー	操作	発生回数
2016/12/01 13:25:20	2016/12/31 23:58:34	YI-EX-SQLSV12	N/A	コンピューターがアカウントの資格情報の確認を試行しました。	16306
2016/12/15 17:30:35	2016/12/15 17:30:35	YI-EX-SQLSV12	N/A	Windows ファイアウォール サービスが正常に開始されました。	1
2016/12/15 17:30:27	2016/12/15 17:30:27	YI-EX-SQLSV12	N/A	Windows ファイアウォール ドライバーが正常に開始しました。	1

5

1/1　　BOM for Windows

2.13.1 各項目について

No	説明
1	ログオン・ログオフ関連のセキュリティログを集計して表示します
2	ファイルアクセス関連のセキュリティログを集計して表示します
3	プロセス起動・終了関連のセキュリティログを集計して表示します
4	管理者操作関連のセキュリティログを集計して表示します
5	“ログオン・ログオフ”、“ファイルアクセス”、“プロセス起動・終了”、“管理者操作”に該当しないセキュリティログを集計して表示します

2.13.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.14 全インスタンス概要（Windows）

レポート出力対象のコンピューターを一覧表示し、基本情報をまとめたサマリーレポートです。本レポートは BOM7.0 レポート作成ウィザードで 1 インスタンス選択ごとに全インスタンス概要が表示されます。

サーバー診断レポート－全インスタンス概要　2017/01/01 ～ 2017/01/31　2017年01月

全インスタンス概要

CPU～NICまでの凡例　○：良好です、△：注意を要します、×：増強をお奨めします、（空白）：監視項目がありません
ハードウェア～ソフトウェアの凡例　＋：追加があります、－：削除があります、（空白）：監視項目がないか、変更がありません
Pingの凡例　○：良好です、△：注意を要します、×：ネットワーク機器および環境の確認をお奨めします、（空白）：監視項目がありません

コンピューター名	OS情報	CPU	Mem	HDD	NIC	ハードウェア	ソフトウェア	Ping
EC2AMAZ-2	Microsoft Windows Server 2016 Datacenter	○	×	×	○			
EC2AMAZ-IGUARGG	Microsoft Windows Server 2016 Datacenter	○	×	×	○	－	＋	○

1/1　BOM for Windows

2.14.1 各項目について

項目名	説明
コンピューター名	監視コンピューターの監視インスタンス名を表示します。
OS 情報	監視コンピューターの OS 情報を表示します。
CPU	監視コンピューターの CPU 負荷状況を記号で表示します。
Mem	監視コンピューターのメモリ使用状況（物理メモリ、仮想メモリ）を記号で表示します。
HDD	監視コンピューターのハードディスク状況（使用率、アクセス状況）を記号で表示します。
NIC	監視コンピューターのネットワーク負荷状況を記号で表示します。
ハードウェア	ハードウェアの追加・削除状況を表示します。
ソフトウェア	ソフトウェアの追加・削除状況を表示します。
Ping	監視コンピューターの Ping 状況を記号で表示します。

2.14.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.14.3 インスタンス概要の各記号について

CPU、Mem、HDD、NIC、Ping の各記号については、サーバー診断レポートで出力される各診断結果をもとに判定しています。

CPU、Mem、HDD、NIC の記号について

記号	説明	サーバー診断レポートステータス
○	良好です	正常（余力あり）、正常
△	注意を要します	注意
×	増強をお勧めします	高負荷
空白	監視項目がありません	

ハードウェア、ソフトウェアの各記号については、ハードウェア・ソフトウェア差分情報で出力される結果をもとに判定しています。

ハードウェア、ソフトウェアの記号について

記号	説明	ハードウェア・ソフトウェア差分情報
＋	追加があります	追加
－	削除があります	削除
空白	監視項目がないか、変更がありません	

※追加および削除があった場合には“＋/－”と出力されます

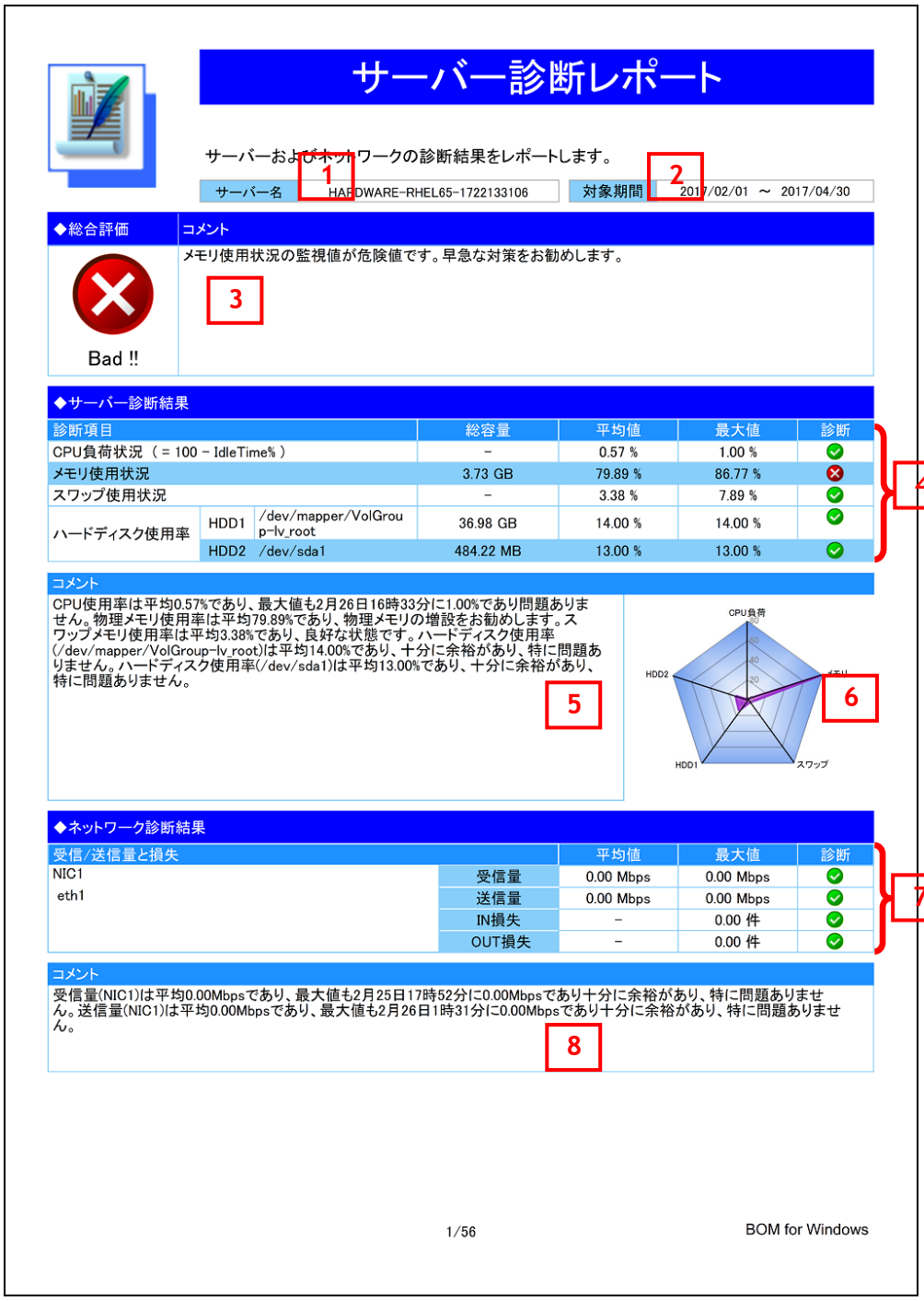
Ping の各記号については、サーバー診断レポートで出力される各診断結果をもとに判定しています。

Ping の記号について

記号	説明	サーバー診断レポートステータス
○	良好です	正常（余力あり）
△	注意を要します	注意
×	ネットワーク機器および環境の確認をお奨めします	高負荷
空白	監視項目がありません	

2.15 サーバー診断レポート(Linux)

監視コンピューターの稼働状況を簡単にまとめたサマリーレポートです。



サーバー診断レポート

サーバーおよびネットワークの診断結果をレポートします。

サーバー名	HARDWARE-RHEL65-1722133106	対象期間	2017/02/01 ～ 2017/04/30

1 2

◆総合評価

Bad !!

コメント

メモリ使用状況の監視値が危険値です。早急な対策をお勧めします。

3

◆サーバー診断結果

診断項目			総容量	平均値	最大値	診断
CPU負荷状況 （ = 100 - IdleTime% ）			-	0.57 %	1.00 %	✓
メモリ使用状況			3.73 GB	79.89 %	86.77 %	✗
スワップ使用状況			-	3.38 %	7.89 %	✓
ハードディスク使用率	HDD1	/dev/mapper/VolGroup-lv_root	36.98 GB	14.00 %	14.00 %	✓
	HDD2	/dev/sda1	484.22 MB	13.00 %	13.00 %	✓

4

コメント

CPU使用率は平均0.57%であり、最大値も2月26日16時33分に1.00%であり問題ありません。物理メモリ使用率は平均79.89%であり、物理メモリの増設をお勧めします。スワップメモリ使用率は平均3.38%であり、良好な状態です。ハードディスク使用率(/dev/mapper/VolGroup-lv_root)は平均14.00%であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。ハードディスク使用率(/dev/sda1)は平均13.00%であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。

5

◆ネットワーク診断結果

受信/送信量と損失		平均値	最大値	診断
NIC1 eth1	受信量	0.00 Mbps	0.00 Mbps	✓
	送信量	0.00 Mbps	0.00 Mbps	✓
	IN損失	-	0.00 件	✓
	OUT損失	-	0.00 件	✓

7

コメント

受信量(NIC1)は平均0.00Mbpsであり、最大値も2月25日17時52分に0.00Mbpsであり十分に余裕があり、特に問題ありません。送信量(NIC1)は平均0.00Mbpsであり、最大値も2月26日1時31分に0.00Mbpsであり十分に余裕があり、特に問題ありません。

8

1/56 BOM for Windows

2.15.1 各項目について

No	説明
1	レポート対象のサーバー名を表示します
2	レポートの出力対象期間を表示します
3	コンピューターリソースの診断結果、ネットワークトラフィック診断結果を合わせたコンピューター総合評価をそれぞれの診断結果を基にコメントを自動生成します。また、総合評価に合致したアイコンを表示します。
4	コンピューターリソースの診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。
5	コンピューターリソースの診断結果を元にコメントを自動生成します。
6	コンピューターリソースの診断結果をチャートにまとめて表示します。
7	ネットワークトラフィックの診断結果を表示します。 ステータスは、監視コンピューター上の監視項目から情報を取得し、判定基準に沿って決定します。
8	ネットワークトラフィックの診断結果を元にコメントを自動生成します。

2.15.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

※　レポートデータベース設定ウィザードで指定する際に使用する一覧表です

監視テンプレート名：Linux サーバー診断レポート V2 レポート用

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
Linux レポート向け監視項目	Linux Idle 監視	Linux_Idle
	Linux LoadAverage 監視	Linux_LoadAvg
	Linux メモリ監視	Linux_MemABytes
	Linux スワップメモリ監視	Linux_SwapPageAccount
	Linux ディスクアクセス監視	Linux_IORequest
	Linux hda1 ディスク容量監視	Linux_DiskFreeSpace
	Linux hda2 ディスク容量監視	Linux_DiskFreeSpace
	Linux sda1 ディスク容量監視	Linux_DiskFreeSpace
	Linux sda2 ディスク容量監視	Linux_DiskFreeSpace
	Linux VolGroup00-LogVol00 ディスク容量監視	Linux_DiskFreeSpace
	Linux NIC1 ネットワーク送信総バイト数監視	Linux_PerfNICBytesSent
	Linux NIC1 ネットワーク受信総バイト数監視	Linux_PerfNICBytesReceived
	Linux NIC1 ネットワーク送信エラー発生回数	Linux_PerfNICPacketOutbErr
	Linux NIC1 ネットワーク受信エラー発生回数	Linux_PerfNICPacketRcvErr
	Linux NIC2 ネットワーク送信総バイト数監視	Linux_PerfNICBytesSent
	Linux NIC2 ネットワーク受信総バイト数監視	Linux_PerfNICBytesReceived
	Linux NIC2 ネットワーク送信エラー発生回数	Linux_PerfNICPacketOutbErr
	Linux NIC2 ネットワーク受信エラー発生回数	Linux_PerfNICPacketRcvErr
	/var/log/messages ログ要注意キーワード監視	Linux_Evtlog
	/var/log/secure ログ要注意キーワード監視	Linux_Evtlog

2 .15 .3 サマリー情報の診断結果

サーバー診断レポートの診断結果は、平均値と最大値を考慮して設定します。

● 診断結果

サーバー診断レポートで表示される診断結果およびアイコンは、以下の値で設定しております。

診断項目名	正常(余力あり)	正常	注意	高負荷
CPU 負荷状況	平均 25%未満	平均 50%未満	平均 75%未満	平均 75%以上
メモリ使用状況	平均 25%未満	平均 50%未満	平均 75%未満	平均 75%以上
スワップ使用状況	平均 25%未満	平均 50%未満	平均 75%未満	平均 75%以上
ハードディスク 使用率	平均 25%未満	平均 50%未満	平均 75%未満	平均 75%以上
受信/送信量	平均 250Mbps 未満	平均 500Mbps 未満	平均 750Mbps 未満	平均 750Mbps 以上
IN/OUT 損失発生回数	―	0 件/日	1 件/日未満	1 件/日以上

● コメント

サーバー診断レポートのコメントは、診断結果を元に、最大値の情報を加味して設定しております。

なお、以下の表で“（平均値）”、“（日時）”、“（最大値）”、“（ドライブ名）”、“（NIC 名）”と表記している箇所には、実際の監視コンピューターの情報が入ります。

CPU 負荷状況			
	診断結果	最大値	コメント
	正常（余力あり）	最大 50%未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）であり問題ありません。
		最大 75%未満	CPU 使用率は平均（平均値）です。最大値は（日時）に（最大値）であり、この時間に負荷のかかるタスクが動作していると考えられます。
		最大 75%以上	CPU 使用率は平均（平均値）です。最大値は（日時）に（最大値）であり、この時間に負荷のかかるタスクが動作していると考えられます。
	正常	最大 50%未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
		最大 75%未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
		最大 75%以上	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。今後タスクの追加等を行われる場合は、ご注意ください。
	注意	最大 75%未満	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。可能であればCPU の追加をお勧めします。
		最大 75%以上	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。可能であればCPU の追加をお勧めします。
	高負荷	最大 75%以上	CPU 使用率は平均（平均値）であり、最大値も（日時）に（最大値）です。早急な上位機種へのアップグレードをお勧めします。

メモリ使用状況			
	診断結果	最大値	コメント
	正常（余力あり）	–	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。
	正常	–	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、良好な状態です。
	注意	–	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、タスクの追加等は控えられることをお勧めします。
	高負荷	–	物理メモリ使用量は平均（平均値）であり、物理メモリの増設をお勧めします。

スワップ使用状況			
	診断結果	最大値	コメント
	正常 （余力あり）	－	スワップメモリ使用量は平均（平均値）であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。
	正常	－	スワップメモリ使用量は平均（平均値）であり、良好な状態です。
	注意	－	スワップメモリ使用量は平均（平均値）であり、タスクの追加等は控えられることをお勧めします。
	高負荷	－	スワップメモリ使用量は平均（平均値）であり、物理メモリの増設をお勧めします。

ハードディスク 使用率			
	診断結果	最大値	コメント
	正常 （余力あり）	－	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均（平均値）であり、十分に余裕があり、特に問題ありません。
	正常	－	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均（平均値）であり、良好な状態です。
	注意	－	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均（平均値）であり、不要なファイルがあれば、削除等の、情報の整理をお勧めします。アプリケーションの追加等を行われる場合はご注意ください。
	高負荷	－	ハードディスク使用量((ドライブ名))は平均（平均値）であり、ハードディスクを増設し、ファイルの移動をお勧めします。

受信/送信量			
	診断結果	最大値	コメント
	正常（余力あり）	最大 500Mbps 未満	受信/送信量((NIC 名))は平均(平均値)であり、最大値も(日時)に(最大値)であり十分に余裕があり、特に問題ありません。
		最大 750Mbps 未満	受信/送信量((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、この時間に負荷がかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
		最大 750Mbps 以上	受信/送信量((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、この時間に負荷がかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
	正常	最大 500Mbps 未満	受信/送信量((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、良好な状態です。
		最大 750Mbps 未満	受信/送信量((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、この時間に負荷がかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
		最大 750Mbps 以上	受信/送信量((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)であり、この時間に負荷がかかっています。大容量のファイルの転送等行っていないか確認して下さい。
	注意	最大 750Mbps 未満	受信/送信量((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)です。ネットワークを利用するアプリケーションやプロセスの設定やエラー状況の確認をお勧めします。
		最大 750Mbps 以上	受信/送信量((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)です。ネットワークを利用するアプリケーションやプロセスの設定やエラー状況の確認をお勧めします。
	高負荷	最大 750Mbps 以上	受信/送信量((NIC 名))は平均(平均値)です。最大値は(日時)に(最大値)です。ブロードキャストストーム等のトラブル発生や、ウィルスによる不要トラフィックの発生が疑われます。詳細な調査をお勧めします

損失発生回数(IN/OUT)			
	診断結果	最大値	コメント
	正常（余力あり）	—	—
	正常	—	—
	注意	—	(NIC 名)でパケット損失が発生しています。問題のないレベルですが、念のため調査をお勧めします。
	高負荷	—	(NIC 名)でパケット損失が(平均値)です。ハードウェアの調査が必要です。

2.16 過去比較情報（Linux）

出力期間を元に、前回・前々回とのサマリー情報を比較するためのレポートです。

サーバー診断レポート－過去比較 HARDWARE-RHEL65-1722133106 2017/02/01 ～ 2017/04/30 1 2017年02月

過去比較情報

◆サーバー診断結果

ハードディスクアクセス状況の平均値、最大値のグラフで、Y軸目盛で'0'と出力される場合、'0.01'未満を示します。

診断項目 ハードディスクアクセス状況：回/秒、その他：%		2017/02月 平均値	2017/02月 最大値
CPU負荷状況 （ = 100 − IdleTime% ）		0.57	1.00
メモリ使用状況		79.89	86.77
スワップ使用状況		3.38	7.89
ハードディスクアクセス状況		0.02	0.15
ハードディスク使用率	/dev/sda1	13.00	13.00
	/dev/mapper/VolGroup-lv_root	14.00	14.00

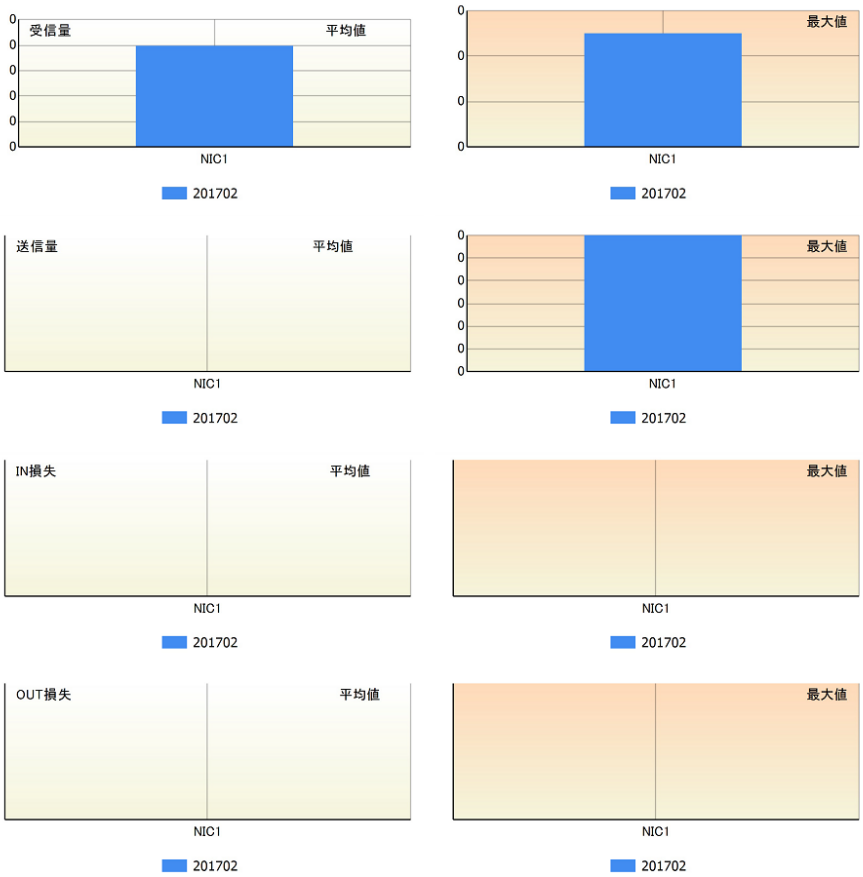
2/56 BOM for Windows

◆ネットワーク診断結果

各グラフのY軸目盛で'0'と出力される場合、'0.01'未満を示します。

診断項目 受信量/送信量:Mbps、損失:件		2017/02月 平均値	2017/02月 最大値
NIC1 eth1	受信量	0.00	0.00
	送信量	0.00	0.00
	IN損失	0.00	0.00
	OUT損失	0.00	0.00

4



5

3/56

BOM for Windows

2.16.1 各項目について

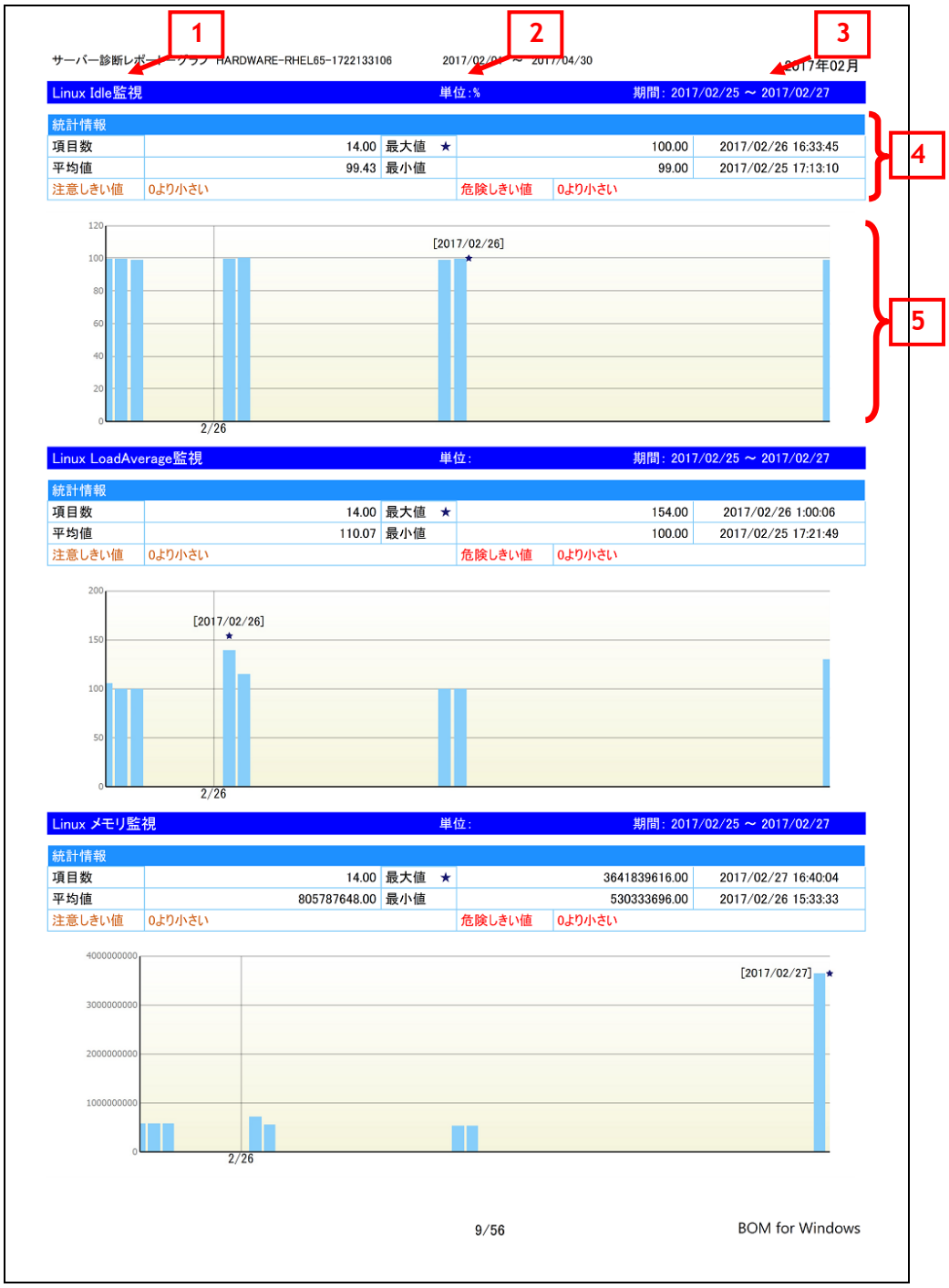
No	説明
1	BOM7.0 レポート出力ウィザードで指定した出力期間の開始月を表示します。
2	コンピューターリソースの診断結果を、今回、前回、前々回の 3 回分を表示します。 診断結果自体は、サーバー診断レポートで集計した情報を使用します。
3	コンピューターリソースの診断結果過去比較をグラフにまとめて表示します ※サンプリング期間毎に監視データの平均値を算出している為、最大値、最小値などが必ずしもグラフ上に表示されるわけではありません
4	ネットワークトラフィックの診断結果を、今回、前回、前々回の 3 回分を表示します。 診断結果自体は、サーバー診断レポートで集計した情報を使用します。
5	ネットワークトラフィックの診断結果過去比較をグラフにまとめて表示します

2.16.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.17 詳細グラフ情報（Linux）

各監視項目毎に稼働状況をグラフにまとめたレポートです。インスタンス上の監視項目をグラフにして表示します。



2.17.1 各項目について

No	説明
1	監視項目名を表示します
2	監視項目で設定している単位を表示します
3	監視項目で取得したデータのサンプリング期間を表示します
4	監視項目で取得したデータの統計情報を表示します
5	監視項目で取得したデータをグラフで表示します ※サンプリング期間毎に監視データの平均値を算出している為、最大値、最小値などが必ずしもグラフ上に表示されるわけではありません

2.17.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.18 システム基本情報（Linux）

監視コンピューターの OS 名など、システムの基本情報をまとめたレポートです。

サーバー診断レポートーLinux基本情報 HARDWARE-RHEL65-1722133106　2017/02/01 ～ 2017/04/30　2017年02月

Linuxシステム基本情報

項目名	項目値
コンピューター名	rhel65x64-qa-h01
OS名	Red Hat Enterprise Linux Server release 6.5 (Santiago)
カーネルバージョン	2.6.32-431.el6.x86_64
システム製造元	Microsoft Corporation
システムモデル	Virtual Machine
システムの種類	x86_64
プロセッサ	Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU　Q9550 @ 2.83GHz
物理メモリ容量	3913904.00 KB　(3.73 GB)
仮想メモリ容量	5945512.00 KB　(5.67 GB)

ハードディスク容量

ドライブ名	容量
/dev/mapper/VolGroup-lv_root	36.98 GB
/dev/sda1	0.47 GB

14/56　BOM for Windows

2.18.1 各項目について

項目名	説明
コンピューター名	監視コンピューターのコンピューター名を表示します
OS 名	監視コンピューターの OS 名を表示します
カーネルバージョン	監視コンピューターのカーネルバージョンを表示します
システム製造元	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）製造元を表示します
システムモデル	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）名を表示します
システムの種類	監視コンピューターのシステム（ハードウェア）の種類を表示します
プロセッサ	監視コンピューターに搭載されているプロセッサの種類を表示します
物理メモリ容量	監視コンピューターに搭載されている物理メモリの容量を表示します
仮想メモリ容量	監視コンピューターに設定されている仮想メモリの容量を表示します
ハードディスク容量	監視コンピューターに設定されているハードディスクのドライブ名、容量を表示します

※　それぞれの項目は、情報の取得に失敗した場合は表示されません

2.18.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.19 ハードウェア情報（Linux）

監視コンピューターに搭載されているハードウェアを一覧にまとめたレポートです。

サーバー診断レポートーハードウェア HARDWARE-RHEL65-1722133106　2017/02/01 ～ 2017/04/30　2017年02月

ハードウェア情報

項番	カテゴリ	ハードウェア名	詳細情報	
1	acpi	Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q9550 @ 2.83GHz	CPU0	
2	acpi	Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q9550 @ 2.83GHz	CPU1	
3	acpi	Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q9550 @ 2.83GHz	CPU2	追加
4	acpi	Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q9550 @ 2.83GHz	CPU3	追加
5	computer	Computer		
6	computer	Macintosh mouse button emulation	logicaldev_input_0	
7	computer	Microsoft Vmbus HID-compliant Mouse	logicaldev_input_1	
8	computer	Power Button	logicaldev_input	
9	net	Loopback device Interface	computer_loopback	
10	net	SCSI Device	00_15_5d_21_30_41	追加
11	net	Virtualization Service Client Device (vmbus_0_1)	00_15_5d_21_30_0f	
12	pci	82371AB/EB/MB PIIX4 ACPI	8086_7113	
13	pci	82371AB/EB/MB PIIX4 IDE	8086_7111	
14	pci	82371AB/EB/MB PIIX4 ISA	8086_7110	
15	pci	Hyper-V virtual VGA	1414_5353	
16	pci	SCSI Device	8086_7111_scsi_host_scsi_device_lun0	
17	pci	SCSI Device	8086_7111_scsi_host_scsi_device_lun0_0	追加
18	pci	SCSI Device	8086_7192	
19	pci	SCSI Generic Interface	8086_7111_scsi_host_scsi_device_lun0_0_scsi_generic	追加
20	pci	SCSI Generic Interface	8086_7111_scsi_host_scsi_device_lun0_scsi_generic	
21	pci	SCSI Host Adapter	8086_7111_scsi_host	
22	pci	SCSI Host Adapter	8086_7111_scsi_host_0	
23	pci	SCSI Host Adapter	8086_7111_scsi_host_scsi_host	
24	platform	AT Translated Set 2 keyboard	i8042_i8042_KBD_port_logicaldev_input	
25	platform	i8042 AUX port	i8042_i8042_AUX_port	
26	platform	i8042 KBD port	i8042_i8042_KBD_port	
27	platform	Platform Device (Fixed MDIO bus.0)	Fixed_MDIO_bus_0	
28	platform	Platform Device (i8042)	i8042	
29	platform	Platform Device (microcode)	microcode	
30	platform	Platform Device (pcspkr)	pcspkr	
31	platform	Platform Device (serial8250)	serial8250	
32	platform	Platform Device (vesafb.0)	vesafb_0	

1

15/56　BOM for Windows

2.19.1 各項目について

No	説明
1	監視コンピューターに搭載されているハードウェアを一覧に表示します。 出力期間内に、追加または削除されたハードウェアは背景色を変更して表示します 追加された場合の背景色：黄色 削除された場合の背景色：グレー

2.19.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2 .20 ソフトウェア情 報（Linux）

監視コンピューターに導入されているソフトウェアを一覧にとまとめたレポートです。

一覧に出力される条件は監視コンピューターの OS 上で管理されているアプリケーションのみレポートされます

サーバー診断レポートーソフトウェア HARDWARE-RHEL65-1722133106　2017/02/01 ～ 2017/04/30　2017年02月

ソフトウェア情報

項番	ソフトウェア名	ベンダー	バージョン	インストール日付
1	abrt Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	2.0.8	2014/09/05
2	abrt-addon-ccpp Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	2.0.8	2014/09/05
3	abrt-addon-kerneloops Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	2.0.8	2014/09/05
4	abrt-addon-python Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	2.0.8	2014/09/05
5	abrt-cli Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	2.0.8	2014/09/05
6	abrt-desktop Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	2.0.8	2014/09/05
7	abrt-gui Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	2.0.8	2014/09/05
8	abrt-libs Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	2.0.8	2014/09/05
9	abrt-tui Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	2.0.8	2014/09/05
10	abyssinica-fonts Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	1.0	2014/09/05
11	acl Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	2.2.49	2014/09/05
12	acpid Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	1.0.10	2014/09/05
13	aic94xx-firmware Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	30	2014/09/05
14	alsa-lib Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	1.0.22	2014/09/05
15	alsa-plugins-pulseaudio Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	1.0.21	2014/09/05
16	alsa-utils Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	1.0.22	2014/09/05
17	anthy Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	9100h	2014/09/05
18	apr Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	1.3.9	2014/09/05
19	apr-util Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	1.3.9	2014/09/05
20	apr-util-ldap Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	1.3.9	2014/09/05
21	at Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	3.1.10	2014/09/05
22	atk Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	1.30.0	2014/09/05
23	atmel-firmware Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	1.3	2014/09/05
24	at-spi Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	1.28.1	2014/09/05
25	at-spi-python Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	1.28.1	2014/09/05
26	attr Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	2.4.44	2014/09/05
27	audit Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	2.2	2014/09/05
28	audit-libs Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	2.2	2014/09/05
29	authconfig Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	6.1.12	2014/09/05
30	authconfig-gtk Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	6.1.12	2014/09/05
31	autofs Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	5.0.5	2014/09/05
32	avahi-autoipd Relocations: (not relocatable)	Red Hat, Inc.	0.6.25	2014/09/05

1

17/56　BOM for Windows

2.20.1 各項目について

No	説明
1	監視コンピューターに搭載されているソフトウェアを一覧に表示します。 出力期間内に、追加または削除されたソフトウェアは背景色を変更して表示します 追加された場合の背景色：黄色 削除された場合の背景色：グレー

2.20.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.21 ハードウェア・ソフトウェア差分情報（Linux）

“ハードウェア情報”レポートおよび、“ソフトウェア情報”レポートから、前回との差分だけ抽出したレポートです

前回と比較して、追加または削除された内容のみを表示します。前回との差分がない場合には出力されません。

サーバー診断レポートーハードウェア・ソフトウェア差分情報
HARDWARE-RHEL65-1722133106　　2017/02/01 ～ 2017/04/30　　2017年02月

ハードウェア・ソフトウェア差分情報

◆ハードウェア差分情報

項番	カテゴリ	ハードウェア名	詳細情報	状態
1	acpi	Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q9550 @ 2.83GHz	CPU2	追加
2	acpi	Intel(R) Core(TM)2 Quad CPU Q9550 @ 2.83GHz	CPU3	追加
3	net	SCSI Device	00_15_5d_21_30_41	追加
4	pci	SCSI Device	8086_7111_scsi_host_scsi_device_lun0_0	追加
5	pci	SCSI Generic Interface	8086_7111_scsi_host_scsi_device_lun0_0_scsi_generic	追加
6	storage	SCSI Device	serial_360022480788802fc441fae1f8c29f3d7	追加
7	storage	Virtual CD/ROM	serial_14d534654202020200000000000000000000000000000000	追加
8	storage	Virtualization Service Client Device (vmbus_0_15)	serial_360022480c7c14a039b9fc5edd8e66c9a	追加
9	volume	Virtualization Service Client Device (vmbus_0_14)	uuid_bee8f810_4818_4380_a970_34cce471d2a3	削除
10	volume	Virtualization Service Client Device (vmbus_0_17)	uuid_bee8f810_4818_4380_a970_34cce471d2a3	追加

◆ソフトウェア差分情報

※該当する情報がありません

53/56　　BOM for Windows

2.22 テキストログ情報（Linux）

監視コンピューターのテキストログ監視の結果を簡単にまとめたサマリーレポートです。

サーバー診断レポートーLinuxテキストログ HARDWARE-RHEL65-1722133106　2017/02/01 ～ 2017/04/30　2017年02月

Linuxテキストログ情報

テキストログ監視の結果をレポートします。
ログの種類は、すべて"情報"となります。

◆ログ構成

ソース	合計
/var/log/messages*	6727
/var/log/secure*	6
合計	6733

1

54/56　BOM for Windows

2.22.1 各項目について

No	説明
1	同一のテキストログソースについて件数を集計し、集計した同類のメッセージ毎に表示します

2.22.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2 .23 全インスタンス概 要（Linux）

レポート出力対象のコンピューターを一覧表示し、基本情報をまとめたサマリーレポートです。本レポートは BOM7.0 レポート作成ウィザードで 1 インスタンス選択ごとに全インスタンス概要が表示されます。

サーバー診断レポートー全インスタンス概要　2017/02/01 ～ 2017/04/30　2017年02月

全インスタンス概要

CPU～NICまでの凡例　○：良好です、△：注意を要します、×：増強をお奨めします、（空白）：監視項目がありません
ハードウェア～ソフトウェアの凡例　＋：追加があります、－：削除があります、（空白）：監視項目がないか、変更がありません
Pingの凡例　○：良好です、△：注意を要します、×：ネットワーク機器および環境の確認をお奨めします、（空白）：監視項目がありません
※対象インスタンスがLinuxの場合、Pingは（空白）になります

サーバー名	OS名/バージョン	CPU	Mem	HDD	NIC	ハードウェア	ソフトウェア	Ping
BOM6-RHEL67-1722133196	Red Hat Enterprise Linux Server release 6.7 (Santiago) / 2.6.32-573.el6.x86_64		○	○	○			
BOM7-RHEL67-1722133196	Red Hat Enterprise Linux Server release 6.7 (Santiago) / 2.6.32-573.el6.x86_64	○	○	○	○			
DAIRI-FE80C438339B8EB613C	Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard /	○	△	△	○			
HARDWARE-RHEL65-1722133106	Red Hat Enterprise Linux Server release 6.5 (Santiago) / 2.6.32-431.el6.x86_64	○	×	○	○	＋/－		
NEW2_TEMPLATE-FE80CA017F52B347B043	Red Hat Enterprise Linux Server release 7.3 (Maipo) / 3.10.0-514.el7.x86_64	○	○	○	○			
NEW4_TEMPLATE-RHEL65-1722133106	Red Hat Enterprise Linux Server release 6.5 (Santiago) / 2.6.32-431.el6.x86_64	○		○	○			
RHEL65-1722133106	Red Hat Enterprise Linux Server release 6.5 (Santiago) / 2.6.32-431.el6.x86_64	○	×	○	×			
RHEL73-FE80CA017F52B347B043	Red Hat Enterprise Linux Server release 7.3 (Maipo) / 3.10.0-514.el7.x86_64	○	○	○	×			
WIN-TEST000TEST000T	Microsoft Windows Server 2016 Standard /	△	×	○	○			○

56/56　BOM for Windows

2.23.1 各項目について

項目名	説明
サーバー名	監視コンピューターの監視インスタンス名を表示します。
OS 名/バージョン	監視コンピューターの OS 名およびバージョン情報を表示します。
CPU	監視コンピューターの CPU 負荷状況を記号で表示します。
Mem	監視コンピューターのメモリ使用状況(物理メモリ、仮想メモリ)を記号で表示します。
HDD	監視コンピューターのハードディスク状況(使用率)を記号で表示します。
NIC	監視コンピューターのネットワーク負荷状況を記号で表示します。
ハードウェア	ハードウェアの追加・削除状況を表示します。
ソフトウェア	ソフトウェアの追加・削除状況を表示します。
Ping	監視コンピューターの Ping 状況を記号で表示します。

2.23.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

“2.1.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧”を参照してください

2.23.3 インスタンス概要の各記号について

CPU、Mem、HDD、NIC、Ping の各記号については、サーバー診断レポートで出力される各診断結果をもとに判定しています。

CPU、Mem、HDD、NIC の記号について

記号	説明	サーバー診断レポートステータス
○	良好です	正常(余力あり)、正常
△	注意を要します	注意
×	増強をお勧めします	高負荷
空白	監視項目がありません	

ハードウェア、ソフトウェアの各記号については、ハードウェア・ソフトウェア差分情報で出力される結果をもとに判定しています。

ハードウェア、ソフトウェアの記号について

記号	説明	ハードウェア・ソフトウェア差分情報
＋	追加があります	追加
－	削除があります	削除
空白	監視項目がないか、変更がありません	

※追加および削除があった場合には“＋/－”と出力されます

Ping の各記号については、サーバー診断レポートで出力される各診断結果をもとに判定しています。

Ping の記号について

記号	説明	サーバー診断レポートステータス
○	良好です	正常（余力あり）
△	注意を要します	注意
×	ネットワーク機器および環境の確認をお奨めします	高負荷
空白	監視項目がありません	

2 .24 Arcserve UDP v6 ログリスト

Arcserve UDP v6 ログリスト

サーバー名 1 TESTSERVER　対象期間 2 2016/10/01 ～ 2016/10/31

◆サマリー

ソース	情報	詳細	警告	エラー	重大	その他	合計
Arcserve UDP	4	0	1	1	0	0	6

3

◆ログリスト

ソース	ID	レベル	日付	メッセージ
Arcserve UDP	100	情報	2016/10/21 14:03:50	データ ストア管理サービスが 復旧ポイントサーバ "TESTSERVER " で停止しました。
Arcserve UDP	100	情報	2016/10/21 14:03:55	データ ストア管理サービスが 復旧ポイントサーバ "TESTSERVER " で開始しました。
Arcserve UDP	102	警告	2016/10/21 16:43:20	ソース "Arcserve UDP" からのイベント ID 102 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。 イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。 イベントには次の情報が含まれています: 警告発生テスト
Arcserve UDP	102	情報	2016/10/21 17:14:21	ソース "Arcserve UDP" からのイベント ID 102 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。 イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。 イベントには次の情報が含まれています: 情報発生テスト
Arcserve UDP	102	情報	2016/10/21 17:14:26	ソース "Arcserve UDP" からのイベント ID 102 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。 イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。 イベントには次の情報が含まれています: 情報発生テスト
Arcserve UDP	102	エラー	2016/10/21 17:14:55	ソース "Arcserve UDP" からのイベント ID 102 の説明が見つかりません。このイベントを発生させるコンポーネントがローカル コンピュータにインストールされていないか、インストールが壊れています。ローカル コンピュータにコンポーネントをインストールするか、コンポーネントを修復してください。 イベントが別のコンピュータから発生している場合、イベントと共に表示情報を保存する必要があります。 イベントには次の情報が含まれています: 監査の失敗発生テスト

4

1/1　BOM for Windows

2.24.1 各項目について

No	説明
1	レポート対象の監視インスタンス名を表示します
2	レポートの出力対象期間を表示します
3	Arcserve UDP の検知したログ集計値を一覧で表示します。
4	Arcserve UDP の検知したログ詳細を一覧で表示します。

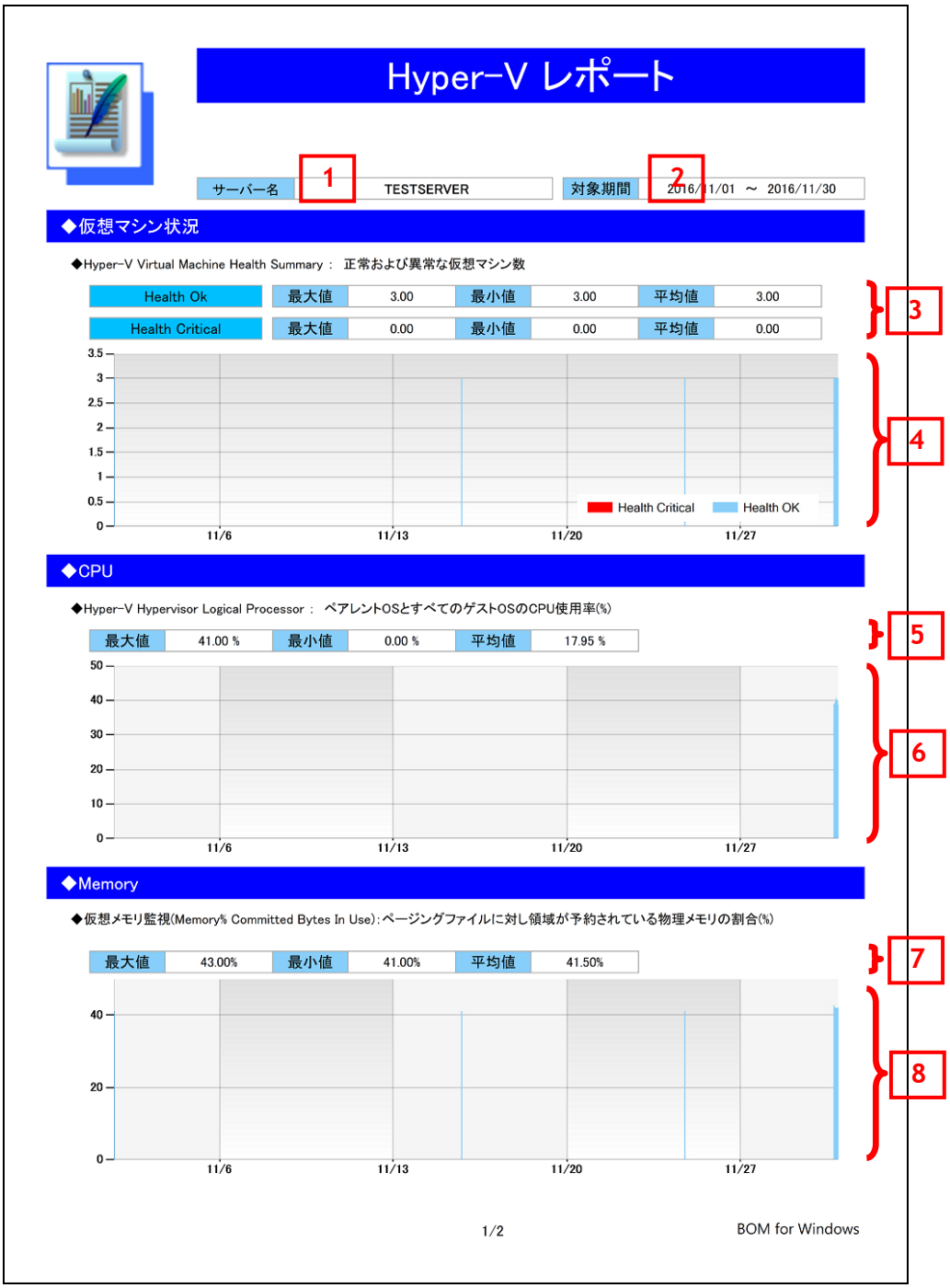
2.24.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

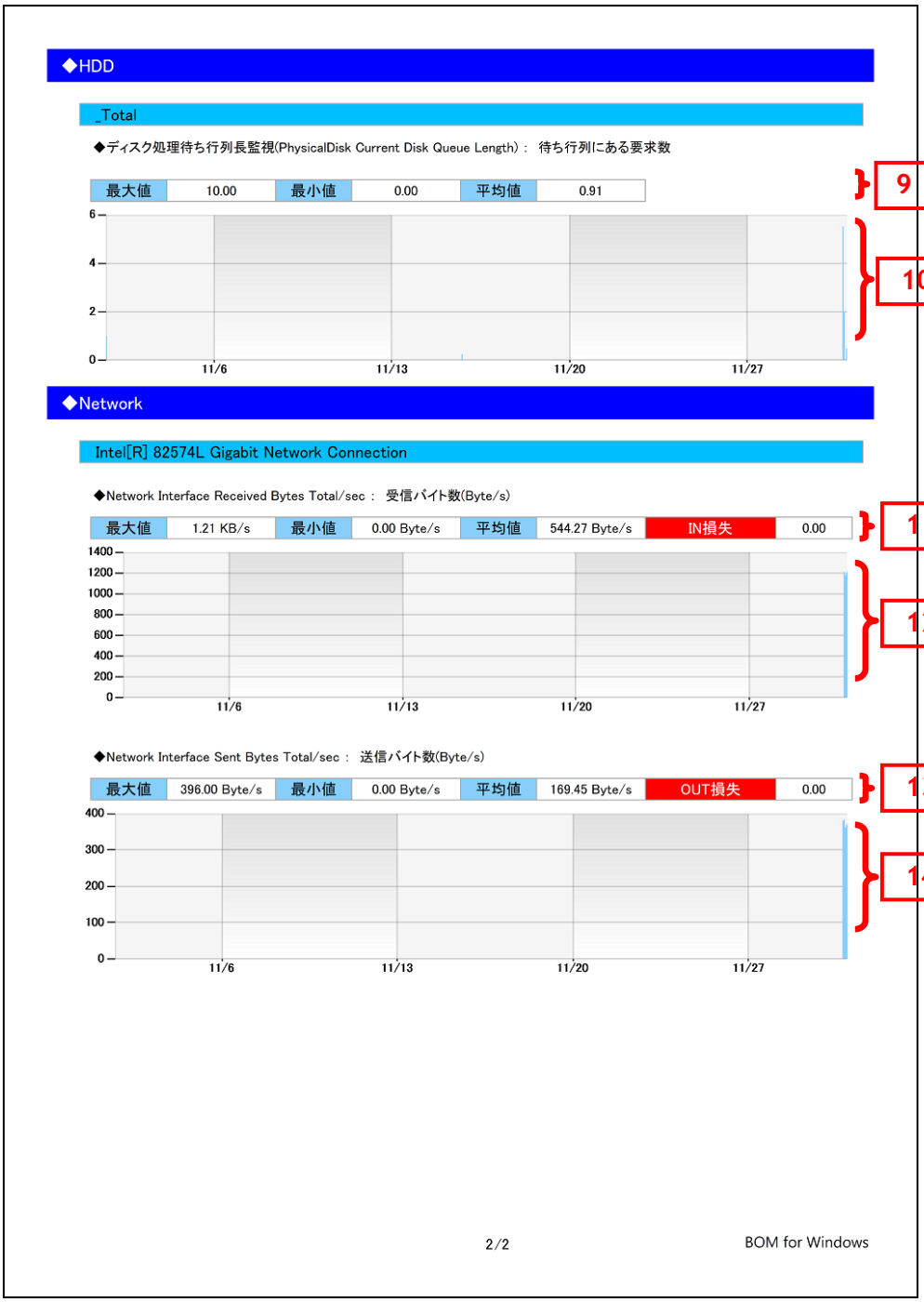
※　レポートデータベース設定ウィザードで指定する際に使用する一覧表です

監視テンプレート名：Arcserve UDPv6 ログ取得レポート用

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
Arcserve UDPv6 ログ取得	Arcserve UDP アプリケーションログ監視	Evtlog

2 .25 Hyper-V レポート




◆HDD
_Total
◆ディスク処理待ち行列長監視(PhysicalDisk Current Disk Queue Length)： 待ち行列にある要求数
最大値 10.00 最小値 0.00 平均値 0.91
9
10
◆Network
Intel[R] 82574L Gigabit Network Connection
◆Network Interface Received Bytes Total/sec： 受信バイト数(Byte/s)
最大値 1.21 KB/s 最小値 0.00 Byte/s 平均値 544.27 Byte/s IN損失 0.00
11
12
◆Network Interface Sent Bytes Total/sec： 送信バイト数(Byte/s)
最大値 396.00 Byte/s 最小値 0.00 Byte/s 平均値 169.45 Byte/s OUT損失 0.00
13
14
11/6
11/13
11/20
11/27
2/2
BOM for Windows

2.25.1 各項目について

No	説明
1	レポート対象の監視インスタンス名を表示します
2	レポートの出力対象期間を表示します
3	Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Critical 監視及び、Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Ok 監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値を表示します
4	Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Critical 監視及び、Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Ok 監視で取得したデータをグラフ表示します
5	Hyper-V Hypervisor Logical Processor -> % Total Run Time 監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値を表示します
6	Hyper-V Hypervisor Logical Processor -> % Total Run Time 監視で取得したデータをグラフ表示します
7	仮想メモリ監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値を表示します
8	仮想メモリ監視で取得したデータをグラフ表示します
9	ディスク処理待ち行列長監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値を表示します
10	ディスク処理待ち行列長監視で取得したデータをグラフ表示します
11	NIC1 ネットワーク受信バイト率監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値および NIC1 ネットワーク受信エラー発生回数監視で取得したエラー発生回数を表示します
12	NIC1 ネットワーク受信バイト率監視で取得したデータをグラフ表示します
13	NIC1 ネットワーク送信バイト率監視で取得したデータの最大値、最小値、平均値および NIC1 ネットワーク送信エラー発生回数監視で取得したエラー発生回数を表示します
14	NIC1 ネットワーク送信バイト率監視で取得したデータをグラフ表示します

2.25.2 レポートデータベース出力時に使用するテーブル名一覧

※　レポートデータベース設定ウィザードで指定する際に使用する一覧表です

監視テンプレート名：Hyper-V レポート用

監視グループ名	監視項目名	出力テーブル名
Hyper-V 2012 R2 Overall health	Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Critical 監視	HPVHealthCritical
	Hyper-V Virtual Machine Health Summary -> Health Ok 監視	HPVHealthOK
Hyper-V 2012 R2 Processor	Hyper-V Hypervisor Logical Processor -> % Total Run Time 監視	HPVLogicalProcessor
Hyper-V 2012 R2 Resources	仮想メモリ監視	PerfMemCBytesInUse
	ディスク処理待ち行列長監視	PerfPDiskCurDiskQueLength

	NIC1 ネットワーク受信バイト率	PerfNICBytesReceived
	NIC1 ネットワーク受信エラー発生回数	PerfNICPacketRcvErr
	NIC1 ネットワーク送信バイト率	PerfNICBytesSent
	NIC1 ネットワーク送信エラー発生回数	PerfNICPacketOutbErr
	NIC2 ネットワーク受信バイト率	PerfNICBytesReceived
	NIC2 ネットワーク受信エラー発生回数	PerfNICPacketRcvErr
	NIC2 ネットワーク送信バイト率	PerfNICBytesSent
	NIC2 ネットワーク送信エラー発生回数	PerfNICPacketOutbErr

第3章 レポートデータベース標準テーブルについて

各レポートデザインとは別に、必ず作成される各種テーブルについてご案内いたします。

3 .1 各 種 テーブルについて

作成されるテーブルの仕様については以下の通りです。

テーブル名称：環境設定テーブル

テーブル ID：t_environmental setting

No.	列名称	列 ID	型	Null
1	設定項目名	environment_item	nvarchar	×
2	設定値	environment_value	nvarchar	×

テーブル名称：収集データリストテーブル

テーブル ID：t_collect_terms

No.	列名称	列 ID	型	Null
1	実行履歴 ID	history_id	int	×
2	実行日時	execute_time	datetime	×
3	検索日時最小値	minimum_time	datetime	×
4	検索日時最大値	maximum_time	datetime	×
5	インベントリ情報格納テーブル	inventory_table_name	nvarchar	×

テーブル名称：インスタンス管理テーブル

テーブル ID：t_instance

No.	列名称	列 ID	型	Null
1	インスタンス設定 ID	instance_setup_id	int	×
2	インスタンス種別（プロダクトコード）	product_code	nvarchar	×
3	ユニークサーバー名	machine_unique_name	nvarchar	×
4	インスタンス名	instance_name	nvarchar	×
5	実行履歴 ID_Begin	history_id_begin	int	×
6	実行履歴 ID_End	history_id_end	int	×
7	サーバー名	machine_name	nvarchar	×
8	エイリアス付サーバー名	machine_alias	nvarchar	×

テーブル名称： サマリーテーブル

テーブル ID：t_summary_report_data

No.	列名称	列 ID	型	Null
1	実行履歴 ID	history_id	int	×
2	インスタンス設定 ID	instance_setup_id	int	×
3	監視項目設定 ID	watch_setup_id	int	×
4	レポートデータテーブル名	table_name	nvarchar	×
5	最大値	maximum_value	money	
6	最大値日付	maximum_date	datetime	
7	最小値	minimum_value	money	
8	最小値日付	minimum_date	datetime	
9	平均値	average_value	money	
10	個数	count_value	money	×
11	合計	sum_value	decimal	
12	増分計算基準値	incremental_base	money	
13	増分計算最大値	incremental_max	money	
14	増分計算合計値	incremental_total	money	
15	取得データ日時最大値	compensation_time	datetime	×
16	付加情報	additional_information	nvarchar	×
17	データ種別	data_type	nvarchar	×

テーブル名称： レポートデータテーブル

テーブル ID：t_$(テーブル追加時に任意設定)_yyyymm

No.	列名称	列 ID	型	Null
1	インスタンス設定 ID	instance_setup_id	int	×
2	日時	monitor_time	datetime	×
3	値	monitor_value	nvarchar	×
4	付加情報	additional_information	nvarchar	×

※yyyymm：年月

テーブル名称： インベントリ情報テーブル

テーブル ID：t_inventory_yyyymm

No.	列名称	列 ID	型	Null
1	インスタンス設定 ID	instance_setup_id	int	×
2	日時	archive_time	datetime	×
3	一意な情報 ID	sysinfo_id	int	×
4	情報 ID の組み合わせ ID	set_num	int	×
5	WMI 名前空間	name_space	nvarchar	
6	WMI クラス名	class_name	nvarchar	
7	WMI プロパティ名	property_name	nvarchar	
8	値	info_value	nvarchar	

※yyyymm：年月

BOM Ver.7.0
Report オプション
デザインファイル仕様

2017 年 1 月 1 日　初版
2017 年 3 月 31 日　改定

著者　セイ・テクノロジーズ株式会社
発行者　セイ・テクノロジーズ株式会社
発行　セイ・テクノロジーズ株式会社
バージョン　Ver.7.0.00.1

Copyright © 2017 SAY Technologies, Inc. All rights reserved.